

令和4（2022）年度 事業報告



公益財団法人とよなか国際交流協会

<目次>

I. 事業報告 総論	1
1. はじめに	1
2. 事業内容 ～5つの観点から～	2
II. 事業概要	4
1. 多様な人々が尊重される地域づくり事業	4
2. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業	7
3. 学校とつながってつくる豊かな未来事業	10
III. 2022 年度事業実績詳細	11
1. 多様な人々が尊重される地域づくり事業	11
(1) 市民主体の国際交流活動推進事業	11
(2) おとな国際事業	16
(3) 持続可能な地域づくり事業	22
(4) 持続可能な人づくり事業	26
(5) 子ども国際事業	28
2. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業	29
(1) おとなサポート事業	29
(2) 子どもサポート事業	35
(3) 多文化子どもエンパワメント事業	39
3. 学校とつながってつくる豊かな未来事業	41
(1) 国際教育推進事業	41
4. 施設管理受託事業	44
(1) とよなか国際交流協会貸室業務	44
(2) 視察学生受入れ等	47
(3) ATOMS ふりかえり会（事業評価会）	48
(4) 会議等へ参加・協力、他機関との意見交換・情報収集	48
(5) 職員研修、その他	49
IV. 理事会・評議員会開催状況、組織体制	50
(1) 理事会開催状況	50
(2) 評議員会開催状況	51
(3) 2022 年組織体制	52

I. 事業報告 総論

1. はじめに

2022 年度*¹、新型コロナに加え、ロシアのウクライナ侵攻は世界に大きな衝撃を与えました。侵攻の長期化により、日本に避難してきた人も少なくありません。公益財団法人とよなか国際交流協会（以下「協会」とする）の日々の活動や生活からも、改めて世界とのつながりを強く感じた1年でした。

また、日本社会の大きな課題である少子高齢化による人口減少、地域や産業界における人手不足は続いており、2022 年4月に出入国管理施策における水際対策が緩和されるや否や、日本で暮らす外国人*²は大きく増えました。日本全体で見た場合、2022 年末の時点で過去最高の 307 万 5,213 人（前年比約 31 万人 [11.4%] 増）、豊中市においては2023 年3月末で6,856 人（前年比約 1,000 人 [16%] 増）となっており、増加の勢いは全国を上回っています。国立社会保障・人口問題研究所によれば、今後も今と同じペースで外国人は増加し、2070 年には総人口の1割を外国人が占めると見込まれています。

現在、豊中にも仕事や学習、家族と一緒に暮らすためなど、様々な目的で外国人がやって来ますが、来日間もない外国人が抱える課題は多岐に渡ります。実際に多言語相談サービス事業には「言葉が分からない」「生活情報が得られない」「周りに友達がいない」「地震などの災害が不安」「子どもが学校でいじめられないか、授業についていけないか心配」など、様々な相談が寄せられます。そもそも多言語相談サービス事業等、協会事業の存在を知らない人もいます。新規来日する外国人にいかに情報を届け、支援や交流につなげるかということはとても大きな課題です。

一方で、コロナ禍以前から豊中に暮らす人たちの生活も決して全員が安定しているわけではありません。2021 年度に行った「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究（豊中市と当協会が事務局となって実施）」では、地域で暮らす外国人は「情報が得られない」「仕事が減る・なくなる」「差別を受ける」「子育ての負担や不安が増した」「地域社会から孤立している」「自分が安心して居られる場所がない」といった課題を抱えている人が多いことが分かりました。そして、その課題の根っこにはコロナ感染拡大以前から続く、生活基盤の脆弱性や外国人に対する偏見や差別、排除の意識などがあり、コロナによって不安定さが増幅したことが見えています。

社会状況の変化が大きく、国際的な人の移動もますます激しさを増す中、豊中市多文化共生指針（以下「指針」とする）の基本理念「さまざまな文化的な背景を持った人が、人権尊重を基調に、お互いを理解し合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に暮らすまちの実現」はますますその必要性、重要性を増しており、当協会でも同指針に準拠した事業展開を進めています。

協会では「市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、世界とつながる多文化共生社会をつくる」を基本理念としています。1993 年の設立以来、とよなか国際交流センター（以下、「センター」とする）を拠点として、外国人市民の自立や社会参加に向けた総合的な外国人支援と多様な文化が認められる「ばづくり」や差異ある人々との共生のために行動できる「ひとづくり」を推進してきました。

近年に限ってみても、大阪府北部地震、西日本豪雨、台風 21 号（2018 年度）、新型コロナウイルスの感染拡大による豊中市災害時多言語支援センターの設置（2019 年度）、新型コロナウイルスワクチン接種に関する多言語での予約システムの開発及び接種会場の運営（2021 年度）、空調設備の改修工事（2021～2022 年度）などの様々な課題がありましたが、職員・市民ボランティア・協会役員のそれぞれが持てる力を出し合い、さらに関係機関・団体、市役所と連携、協力して、多文化共生のまちづくりを進めてきました。

*¹ … 2022 年度は、センターの第四期 [2021～2025 年] 指定管理者期間の2年目でした。

*² … 国などの統計では「外国人」とは外国籍の人を指しますが、協会では国籍だけでなく、外国にルーツを持つ人々も含めて「外国人」としています。

2. 事業内容 ～5つの観点から～

(1) 観点1：外国人に対する支援体制の充実 ～相談機能の強化・充実～

地域で暮らす外国人が支援や交流の場につながるように、また取り残される人がいないように、新たにLINEによる情報発信（6言語）をスタートしました。また、事業者を通して、外国人に災害対応等の多言語情報の提供も行いました。Facebook やウェブサイトでの多言語での情報発信（11言語）も引き続き行っており、様々な情報をタイムリーに届けること、情報から取り残される人がいないように取り組んでいます。

多言語相談サービス事業について、2020年度より豊中市が法務省「外国人受入環境整備交付金」による多文化共生総合相談ワンストップセンターを受託したことを受け、協会でも対応曜日を増やして充実化を図りましたが、今年度は独自にスタッフ研修会を3回実施するなど、対応力の強化に努めました。

また、市関係施設や大阪府教育庁などへの同行支援、豊中市社会福祉協議会と連携した訪問相談、庄内コラボセンターでの多言語相談会、千里文化センターでの防災セミナーなどアウトリーチを進めています。

また、勝手に離婚され、本人も子どもも大きく人生を狂わされるという相談が頻発したことを受け、2014年度から「リコン・アラート（協議離婚問題研究会。事務局は当協会）」の活動を行っています。引き続き、協議離婚制度の問題点について情報提供を行うとともに、2月には離婚に関する一日電話相談会を大阪弁護士会館で実施しました。

他にも、個々の相談対応に加え、多言語スタッフを中心にコミュニティ作りや日頃の相談内容をふまえた外国人向け講座・イベントを企画・実施し、外国人の課題解決及び孤立を防ぐ取組を進めました。

(2) 観点2：センター等の拠点における外国人の居場所・交流・相互学習の充実

現在の日本社会の大きな課題として子ども・若者の課題があります。ニートやひきこもり、ヤングケアラーなどの課題は、外国にルーツを持ち日本で暮らす若者も例外ではありません。そのうえ、海外から日本への移動に伴う困難さもあります。

当協会では子ども母語、学習支援サンプレイス、若者支援事業を実施し、安心できる居場所でピア（同じような状況の仲間）やロールモデルと出会い、つながること、そしてもともと持っていた力を取り戻し、元気になること（＝エンパワメント）を大切にしてきました。次年度も引き続き、居場所や出会いの機会の提供に努め、次世代育成を通じた持続可能な共生社会作りに取り組めます。

子育て中の外国人ママを対象とした「おやこでにほんご」は市内3図書館（岡町、庄内、千里）で実施していますが、通常の活動に加え、市内のNPO法人と連携したイベント（芋ほり交流会）などを実施しました。

主に成人対象の日本語交流活動はセンターに加え、庄内コラボセンター、千里文化センターでも実施しています。コロナ禍でも対面とオンラインを駆使し、途切れることなく、活動しました。今年度は新規ボランティア養成講座に加え、フォローアップ研修を3回開催しました。日本語交流活動には多くの市民が参加しており、日本語の学びだけでなく、セーフティネットとなるつながりができる場にもなっています。さらに市民の生涯学習の場といった面も有しています。今後も、安定的な運営と活動の充実に取り組めます。

(3) 観点3：他機関・団体との連携や協力

3年ぶりに、国際交流フェスタを開催しました。センター登録団体（19団体）と共に実行委員会形式で実施し、成果発表、料理、遊び&文化体験コーナー、バザーなどで充実した企画となりました。

また、2021年度に実施した「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究」に一緒に取り組んだ団体、個人とは「多文化まなびあいネット」というネットワークを立ち上げました。ネットワーク型で進める多文化共生について検討を進めています。

さらに、「外国人と防災」をテーマに市（危機管理課）と共催で市民防災講座を行うなど、いろいろな部局と情報交換・連携しながら、多文化共生のまちづくりを進めています。

このほか、府内の国際交流協会と行政担当とのネットワーク「国際交流協会ネットワークおおさか」では研修会のほか、弁護士による外国人のための一日相談サービス（協力：大阪弁護士会）を実施しました。

府内で外国にルーツを持つ子ども・若者の支援に携わっている団体とのネットワーク「子どもの夢応援ネットワーク」では、大阪府や中央省庁（文部科学省、文化庁、厚生労働省、総務省）と意見交換を行い、政策の企画立案に必要な資料・情報の提供を行うなど、多様な機関・団体との協働や連携を進めています。

一般社団法人青年会議所「WORLD FESTA2022」（プログラムの企画、出演者・ブース出展者との調整）、一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）「多文化体験塾 in 大阪」（研修プログラムの企画及び進行）、大阪府外国人施策有識者会議への委員参加など、当協会の経験、ネットワークを他機関・団体の取組でも活かすことができました。

（４）観点４：地域における学び・交流・支え合いの充実

多文化共生のまちづくりを閉じられたものとしなため、広く市民が多文化共生、国際交流に触れる機会を作りました。前述のとおり、とよなか国際交流フェスタでは、多くの市民がセンターを訪れました。

また、国流シネマカフェを定期的に開催し、映画を入口として多文化共生のまちづくりに関心を持ってもらいました。今年で3回目となったとよなかシネコンは「for Kids」と銘打ち、多文化共生、人権、環境、市民活動、社会教育など、映画を通して分野横断的に社会課題について学ぶ機会を多機関連携で作りました。

国際理解について、例年学校や行政、市民団体などに講師派遣を行っていますが、2022年度は国際理解のためのプログラムを庄内地域（子どものための国際理解プログラム「おまつり地球一周クラブ」&「世界を食べよう～おいしい話編～」@庄内公民館）、千里地域（「世界の『ミカタ』～親子で楽しむ国際交流～」@千里文化センター）、野畑地域（「世界を食べよう～おいしい話編～」@Basic 珈琲）でも行いました。

このほか、「明日の地域福祉を考える市民のつどい」のグループ発表への参加、地域福祉ネットワーク会議への参加・情報提供、しょうないREKへの参加・情報提供などを通して、多くの市民に国際交流、多文化共生に触れ、学ぶ機会・きっかけを提供し、多文化共生のまちづくりのすそ野を広げています。

（５）観点５：とよなか国際交流センターの有効活用

新型コロナの影響が大きく残る中、センターが国際交流・多文化共生の拠点としての役割を果たすため、豊中市とも頻りに協議を行い、三密を回避し、安全・安心に利用してもらえるよう努めてきました。

センターの利用者は空調設備の大規模改修工事があったため、CCスペース等を含めて年間23,878人（昨年比3,347人減）でした。これは工事開始前の一昨年（34,732人）を基準とすると、2021年度は工事期間5か月で27,225人（7,507人減）、2022年度は工事期間8か月で23,878人（10,854人減）であることを考えると、工事で利用が制限されていた期間が長かったとは言え、十分に有効に活用できていると言えます。

また、国際交流目的での使用が全貸室件数のうち、86.7%を占めていることから、目的公共施設としての役割を十分に果たしていることが分かります。

さらに、全体の利用者のうち、外国人利用者は10,019人で全体の約37%を占めます。豊中市の外国人の人口割合（国籍では約1.5%）と併せて考えると、外国人が積極的に利用し、国際交流、多文化共生の拠点としてしっかり機能していることが分かります。

当協会では、より多くの人に情報や支援を届けるため、また多くの市民が国際交流や多文化共生に触れる機会を増やすために、アウトリーチや他機関との連携・協働を進めています。そういったアウトリーチや連携・協働の取組と多文化共生の拠点とが有機的につながることで人の流れを生み、支援や交流、学びをより豊かなものとし、大きな効果をあげていると言えます。

豊中市の外国人数の増加割合が全国平均を上回っていることから、今後もセンターの役割は増すことが予想されます。当協会がこれまで約30年に渡り、豊中市で培ってきたノウハウや資源、地域や人とのつながりを最大限に有効活用し、今後も豊中市とも連携・協力して「チーム豊中」の一員として、多文化共生のまちづくりに取り組んでいきたいと思ひます。

Ⅱ. 事業概要

市民の主体的な参加による人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出するため、次の事業を行った。

1. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

(1) 市民主体の国際交流活動推進事業

① 情報サービス事業

【趣旨】市民の国際交流活動が推進されるように環境整備を進める。

【内容】協会やセンターからのお知らせの発行（日本語及び多言語）、新聞・書籍・雑誌などの閲覧提供、コミュニケーションボードの設置、ウェブサイト・Facebook やLINE などの SNS ・メール配信システム等を利用した情報発信を行った。

【対象】国際交流に関心を持つ一般市民

【主な実績】協会及びセンターのウェブサイト運営（新型コロナに関する特設ページ含む）。多言語ニュースレターは2021年度より「とよなかしからのお知らせ」として毎月発行ならびにEメールでの配信、ウェブサイトでの情報提供（日本語及び多言語）、Facebook やLINE（2022年6月より開始）での多言語情報の発信、協会事業のメディアへの掲載、外国語図書・民族衣装・教材の貸出等。

② 市民活動協働事業

【趣旨】市民の国際交流活動が推進されるように環境整備を進める。

【内容】市民団体の活動支援のため、とよなか国際交流センター登録団体との情報交換を行ったほか、3年ぶりに国際交流フェスタを開催した。また、市民個人及び団体に対して随時相談に対応したほか、団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。さらに、福祉、男女共同参画、環境、市民活動、国際交流の分野に取り組む5団体で中間支援組織間の連携を図った。そのほか、しょうないREK 実行委員会や国際交流ネットワークおおさかへの参加など地域の他団体・広域の関連団体との協働を進め、国際の視点に立った取組を行った。豊中市の都市間連携の動きに合わせ、隣接する四中核市（西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市）の国際交流協会、担当部署間で情報交換を実施している。

【対象】国際交流に関心を持つ一般市民及び団体

【主な実績】市民共同デスクへの参加、しょうないREK 実行委員会への参加、四中核市での情報交換会への参加、市民団体の運営協力、市民団体・個人からの相談対応

③ 留学生ホストファミリー事業

【趣旨】市民の国際交流活動が推進されるように環境整備を進める。

【内容】例年は近隣の大学と日本学生支援機構大阪日本語教育センターの留学生とホームビジットの形で年間を通して活動を行なうが、2022年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため留学生との交流はできなかった。しかし、今年度は「ニュースレター特別号」を発行したり「協会イベントのお手伝い」を行った。

【対象】国際交流に関心を持つ一般市民

【主な実績】ボランティア登録 計60家族

(2) おとな国際事業

① にほんご活動事業

【趣旨】外国人市民と日本人市民の出会いや交流、双方の関係が結べる機会を提供する。

【内容】日本人や外国人の参加者のニーズに合わせた多様な日本語交流活動（希望する外国人と研修を受けたボランティア／子育て中のボランティアによる）を行った（センターで週5回、庄内公民館・千里文化センター・岡町図書館・庄内図書館 [※現在は隔週]・千里図書館のそれぞれで各週1回）。また、新型コロナの感染状況を見ながら、対面での活動とオンラインでの活動を切り替えながら活動を進めた。

【対象】日本語交流活動への参加を希望する日本人及び外国人

【主な実績】[1] にほんご活動 実施回数のべ303回、参加者のべ8,127人（うち外国人4,277人）

[2] おやこでにほんご 実施回数のべ95回、参加者のべ935人（うち外国人413人）

② 多文化共生推進事業

【趣旨】多文化共生のまちづくりを実現するために、市民が参加しやすい様々な学びの場を提供する。

【内容】世界の文化について様々な切り口で学ぶセミナーやワークショップの開催。また、地域の外国人が必要な地域情報にアクセスできるよう通訳を養成して派遣を行う。

【対象】多文化共生の取組に関心のある日本人・外国人

【主な実績】「世界を食べよう～おいしい話編」2回。参加者のべ23人（うち外国人2人）。「世界を食べよう」のレシンプ本の頒布（有料頒布数91冊）及び広報。多文化・多言語セミナーとして「パンソリを楽しもう～安聖民パンソリライブ」1回、参加者107人（うち外国人31人）、「世界の『ミカタ』～親子で楽しむ国際交流～」1回、参加者12人（うち外国人4人）。国流シネマカフェ3回、参加者のべ65人（うち外国人7人）、「外国人のための浴衣体験」1回（参加者のべ12人）等。

(3) 持続可能な地域づくり事業

① メディア・リテラシー市民ゼミナール

② 持続可能な開発のための教育（ESD）・防災・地域貢献

【趣旨】国際化や情報化が進む中、民主的な社会作りに不可欠な知識・理念・技能を学ぶ機会を提供する。その学びに基づいた行動が地域でできるよう行政や各機関との連携・協働を促す。

【内容】[1] メディア・リテラシー市民ゼミナールでクリティカルな視点を学べる機会を提供した。

[2] 持続可能な開発のための教育（ESD）事業について、ESDとよなか連絡会議に参加し、関係団体との地域課題の共有を行い、関係団体の連携について検討を重ねた。また、地域における幼小中高や教職員を対象とした国際理解教育の現場に講師を派遣したほか、地域の人たちの外国人の問題や国際理解・多文化共生等に関する相談を随時受けてきた。

[3] 外国人向けワクチン集団接種会場の運営を実施した。

【対象】外国人及び一般市民

【主な実績】[1] メディア・リテラシー講座の開催1回、参加者12人（うち外国人9人）

[2] ESDとよなか連絡会議への参加。講師派遣年間のべ50件、81人。

[3] ワクチン集団接種会場の運営（接種者のべ約80人）

(4) 持続可能な人づくり事業

① ボランティア研修事業

【趣旨】 国際交流活動の担い手育成のため、ボランティア養成やボランティア研修を実施する。

【内容】 [1] 新型コロナウイルスの感染状況を受け、日本語ボランティア養成講座をオンラインで実施した。また、新規ボランティア及び現役ボランティアのためのフォローアップ研修を3回実施した。多文化子育て支援ボランティア養成講座も新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、オンラインで開催した。
[2] 哲学カフェを実施し、市民の学び合いの場や自由に討論していくスキルを身に付けるための、参加と対話の場を提供した。

【対象】 国際交流活動ボランティア、一般市民

【主な実績】 [1] 「南部にほんご・オンラインにほんごボランティア養成講座 兼 日本語ボランティアフォローアップ研修」：全4回、参加者のべ94人、「日本語ボランティア養成講座」：全2回、参加者のべ161人、「日本語ボランティアフォローアップ研修」：全1回、参加者のべ22人、多文化子育て支援ボランティア養成講座：全3回、参加者のべ42人、
[2] 哲学カフェ（ボランティア研修として実施）：1回、参加者5人

(5) 子ども国際事業

① おまつり地球一周クラブ

【趣旨】 次世代の担い手である子どもたちが日本や世界の様々な文化を体験して学ぶことのできるような異文化理解・国際理解の機会を提供する。

【内容】 2022年度は新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、地域に暮らす様々な人の協力のもと、国際理解を促す体験活動「おまつり地球一周クラブ」を8回実施した。

【対象】 小・中学生とその保護者

【主な実績】 「おまつり地球一周クラブ」8回実施、参加者のべ130人。

② 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

【趣旨】 韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、民族講師（ソンセンニム）から、民族の文化や遊びなどについて学び、自尊感情を培うとともに、友だち（チング）とのつながりを深める場を設ける。

【内容】 2022年度は新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、予定していた回数の「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」の活動を実施し、民族講師から民族の文化や遊びについて学べる機会を提供した。

【対象】 韓国・朝鮮につながりのある小学生、中学生

【主な実績】 「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」10回実施（※ミーティング含む）、参加者のべ230人（うち外国人130人）。小学生のハギハッキョ、小学生・中学生のハギハッキョキャンプを実施。

2. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

(1) おとなサポート事業

① 相談サービス

【趣旨】 在住外国人が抱える課題を解決するために相談サービスを行う。また、相談スタッフが中心となって、地域に住む外国人が自文化を発表する機会の創出を行い、エンパワメントを図る。

【内容】 外国人のための一般生活相談及び外国人女性専用電話相談を相談サービス事業として実施した。対応言語は日本語、中国語、韓国・朝鮮語、英語、フィリピン語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語。①多言語スタッフ、②コーディネーター、③相談員を配置して相談対応を行ったほか、通訳や翻訳作業も行った。2022年度も外国人が日本人配偶者に「勝手に離婚される」問題を受けて、「リコン・アラート（協議離婚問題研究会）」を他機関と協働して運営し、外国人が抱える課題を広く社会に提起する取組も継続して実施した。さらに、センター外での相談会開催や訪問支援などアウトリーチの取組を実施した。

【対象】 外国人及び一般市民

【主な実績】 [1] 相談受付件数 2,456 件
[2] 機関連携による専門的な相談対応
[3] リコン・アラート（協議離婚問題研究会）を通じた啓発活動、一日離婚電話相談会の開催等。

② コミュニティ活動

【趣旨】 地域に暮らす外国人のエンパワメントにつながるグループワークの展開、また自助グループの活動の側面支援を行う。

【内容】 高齢化を迎えるフィリピン人向けの居場所作り「Filipino Young at Heart's Club (FYAHC)」を開催した。感染対策を実施しながら、対面で活動のほか、課外での活動も行った。

【対象】 外国人

【主な実績】 Filipino Young at Heart's Club 6回実施、参加者のべ114人（うち外国人105人）

③ 防災事業

【趣旨】 大規模災害時における外国人支援の仕組みを市や関係団体と共に構築し、災害時もふまえた安心・安全なまちづくりのための体制づくりならびにその啓発を行う。

【内容】 2022年度も引き続き、災害時多言語支援センターを設置し、新型コロナウイルスや台風等に関する情報提供を行った（※設置は2020年度から。2016年度に豊中市と締結した「災害時多言語支援センター設置に関する協定書」に基づく）。また、外国人市民を対象に「外国人のための防災セミナー」や南部日本語における防災研修の他、豊中市との共催事業として「令和4年度 防災市民講座」を開催した。

【対象】 職員、外国人

【主な実績】 災害時多言語支援センターによる情報発信、外国人のための防災セミナー（2回実施）、参加者45人（うち外国人45人）、南部日本語 防災研修の実施：参加者35人（うち外国人24人）、令和4年度 防災市民講座：参加者50人 等。

(2) こどもサポート事業

① 多文化子ども保育 “にこにこ”

【趣旨】「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として差別を受けることがないよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

【内容】保護者が参加する日本語学習と同時間帯に「多文化子ども保育 “にこにこ”」を実施し、孤立しがちな外国人家庭の子どもが多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションを取ることで社会性を身に付ける機会を提供した。

【対象】外国にルーツを持つ子ども

【主な実績】「多文化子ども保育 “にこにこ”」のべ56回実施、ボランティアのべ120人、子どもの参加のべ119人（うち外国人119人）

② 子ども母語教室

【趣旨】「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として人権が保障されるよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

【内容】子どもや親のニーズに合わせて中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語の「子ども母語教室」を実施し、外国にルーツを持つ子どもたちが母語でコミュニケーションが取れるように支援をするとともに、子ども同士の仲間づくりを促進させた。

【対象】外国にルーツを持つ子ども

【主な実績】子ども母語教室（中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語）4教室合わせてのべ21回実施、参加者のべ152人（うち外国人152人）。

③ 学習支援・サンプレイス

【趣旨】「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として人権が保障されるよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

【内容】外国にルーツを持つ小学生、中学生、高校生への日本語・学習支援を通じた居場所作り「サンプレイス」を行った。2022年度は対面で継続して活動を行い、子どものニーズに沿ってボランティアが宿題、日本語、教科の勉強、表現活動などに対応した。また、子どもたちやボランティアのつながりを深めるための行事や学びの場、企画事業なども行ったほか、子どもの相談にも随時対応した。さらに、外国にルーツを持つ子どもの居場所作りに必要な視点やスキルを学ぶための研修を実施した。

【対象】外国にルーツを持つ子ども

【主な実績】サンプレイス のべ39回実施、参加者のべ432人（うち外国人301人）。行事の開催2回、参加者9人（うち外国人4人）。ボランティア研修3回、参加者のべ22人（うち外国人9人）。

④ 若者支援

【趣旨】義務教育課程を過ぎた外国人の若者の居場所作りを通して、必要な支援（相談、自己表現や体験活動、学習に対する支援等）を実施する。

【内容】外国にルーツを持つ「若者世代」を対象に、就労・進学につながる日本語サポートや、安心して集い、悩みや課題を相談できる居場所作り及び生活支援を行った。2022年度はこれまでの10年間の活動を振り返り、今後の活動について検討する場を持ったほか、地域の若者支援機関とのネットワーク作りに取り組んだ。

【対象】外国にルーツを持つ子ども・若者

【主な実績】 [1] 外国にルーツを持つ若者の居場所事業

- ・外国にルーツを持つ若者「たまりば」年26回、参加者のべ68人（うち外国人62人）
- ・イベント、行事の開催年1回、参加者のべ6人（うち外国人5人）

[2] 高校進学のための同行支援4回 のべ9人

(3) 多文化子どもエンパワメント事業

① 学習日本語「こんぱす」

【趣旨】外国にルーツを持つ子ども、若者たちが日本で教育を受け、生活していくために必要な日本語の力を身に着ける機会を設ける。

【内容】学習のための日本語支援が必要な子ども・若者のための日本語教室で、日本語学習の支援を行った。また、子どもの日本語と学習面のつまづきや悩み、不安に関する学習相談日を設け、学校教員や保護者等からの相談対応を行った（運営の中心はとよなかJSL）。

【対象】学習日本語「こんぱす」…外国にルーツを持つ子ども・若者

学習相談…学校の教職員、外国にルーツを持つ子どもとその保護者

【主な実績】学習日本語「こんぱす」のべ94回実施、参加者のべ1,050人（うち外国人442人）、学習相談9件、参加者のべ39人（うち外国人19人）

② てーげーコミュニケーションズ（多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト）

【趣旨】豊中市に在住する、在日コリアン、帰国、渡日といった背景を持つ多文化につながる子どもたちの現状を把握し、そのニーズに対応できるような支援を構想していく。

【内容】2014年度に公益財団法人庭野平和財団からの助成を受けた事業を引き続き自主財源で実施し、「てーげーコミュニケーションズ（多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト）」として、外国につながる子ども・若者たちの出会いの場を創造するための映像作品を作成した。その映像作品の宣伝広報、販売促進を行った。

【対象】外国にルーツを持つ子ども・若者

【主な実績】「てーげーコミュニケーションズ（多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト）」映像作品の宣伝、広報、販売促進

③ ネットワーク事業への参加

【趣旨】主に大阪府内で外国にルーツを持つ子どもの支援に携わっている機関、団体でネットワークを組み、一つの機関・団体では解決が難しい課題について意見や情報の交換、発信を行った。

【内容】情報交換・意見交換のための会議の開催、研修会の開催。

【対象】外国にルーツを持つ子ども等、外国人の支援に携わっている機関・団体

【主な実績】子どもの夢応援ネットワーク会議への参加など

3. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

(1) 国際教育推進事業

【趣旨】豊中市で行ってきた様々な「国際」に関する取組を総合的につなげるシステムを作り出すために、教育資源を共有財産にする学び合い、調査・研究を実施する。

【内容】多文化フェスティバルを豊中市教育委員会協力のもと開催した。帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会に構成団体として参加し、「多言語による進路ガイダンス」を開催した。

【対象】豊中市教育委員会及び豊中市立小中学校

【主な実績】「多文化フェスティバル」の開催（年1回、参加者90人、うち外国人63人）、「多言語による進路ガイダンス」の開催（年1回、参加者95人、うち生徒・保護者・通訳者計39人）

4. 施設管理受託事業

(1) とよなか国際交流センター貸室業務

(2) 視察、学生受入れ等

(3) ATOMS ふりかえり会（事業評価会）

(4) 会議等への参加・協力、他機関との意見交換・情報収集

【趣旨】とよなか国際交流センター貸室業務は定款にある目的を達成するための事業（国際交流の機会提供及び参加促進の事業、国際理解及び国際化に関する啓発・研修事業、国際交流に関する情報の収集及び提供事業、民間団体の国際交流活動に対する支援事業、国際協力に関する事業、在住外国人に対する支援事業など）を推進していく活動ならびに同様の国際交流を目的とする一般市民や利益目的でない一般利用者への貸室業務であり、貸室の利用料金に関する収入は全て豊中市に納付している。

【内容】とよなか国際交流センターの国際交流目的利用の市民や一般利用者に対して、公平公正、安全に貸室業務を行った。さらに視察受入れや職員研修は通年で実施したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響ならびに空調設備改修工事のため、豊中市の中学校が実施する「地域体験学習 CUL(カル)」職場体験の受入れは行えなかった。また、空調設備の改修工事のため2021年11月～2022年11月まで貸室業務は中止となった。

【対象】一般市民及び施設利用者

【主な実績】[1] 年間貸室利用者数 10,380人（前年度比 5,705人減）、うち外国人利用者数 3,945人（前年度比 4,747人減）・視察受入れ（計12件、合計140人）
[2] Atoms 振り返り会参加者 50人
[3] 職員研修（計20回）

Ⅲ. 2022 年度事業実績詳細

1. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

(1) 市民主体の国際交流活動推進事業

① 情報サービス事業

◆ニュースレターの発行

日本語版と多言語版に分けて発行した。日本語版は「こくりゅうだより」として、内容はセンター事業を中心にした案内や報告を掲載した。表紙のデザインは、地域の高校との連携の一環として、大阪府立池田高校美術部と大阪府立桜塚高校イラスト部の高校生ボランティアに隔月でお願いしている（発行部数：A3 サイズ [表裏]・フルカラー [156号～167号]、各月1,400部）。

多言語ニュースレターについては、2021年度より「とよなかしからのおしらせ」として言語ごとに紙面を発行（発行部数：A4 サイズ [表裏]・モノクロ、8言語で毎月計3,290部）。外国人が必要とする情報を多言語で分かりやすく提供するため、記事の選出や表現の仕方に工夫をした。

◆多言語メールニュースの配信

月1回（基本的に毎月第1金曜日）、メールニュース配信希望者には多言語ニュースレターの内容を9言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ベトナム語、フィリピン語）ならびにやさしい日本語でメール配信した。2022年度は特に新型コロナウイルス感染症に関連する様々な情報を随時発信した。（2023年3月時点のメールニュース登録者数：552人）

2019年度から実施していた多言語メール配信であるが、登録者数、メールの開封率、そのほかのSNS（FacebookやLINE等）の使用状況等を総合的に考慮・検討を重ねた結果、SNSやウェブサイトなどの他媒体による情報発信がより効果的であると判断し、2023年3月末をもって終了することとした。

◆書籍・新聞・雑誌・民族衣装、楽器等の閲覧及び貸出提供

雑誌の収集と提供を行っている。外国人向けの無料コミュニティ紙、多言語の新聞やチラシを配架するなど、言語的マイノリティへの情報提供を積極的に行っている。2022年度は配架ラックの配置替えを行い、チラシ等の配架物を閲覧しやすくした。さらに多言語情報コーナーも言語別に整理し、利便性の向上を図った。

また、豊中市立図書館からは半年ごとに多言語での書籍（約100冊）の団体貸出を受けており、図書館とも連携して図書の実質を図っている（2013年1月より継続して実施）。

館内に併設されている「地球市民ライブラリー」の蔵書については、図書ボランティアが図書の整理や書籍名簿の作成を行い、市民が利用しやすい環境を整えた。日本語能力試験等の検定試験受験を希望する外国人のためのサポート用のテキスト、人権・多文化共生等に関する書籍も購入した。

2022年11月末までセンターが空調設備の改修工事を行っていたため、書籍、民族衣装や民族教材の一般貸出を停止していたこともあり、貸出件数は例年と比べて少なくなった。

◆図書類（外国語図書（絵本）含む）

貸出		貸出件数 (件)	増冊数		
総数		70	総数		83
【内訳】	一般図書（絵本含む）	38	【内訳】	一般図書	38
	外国語図書（絵本含む）	32		日本語学習関係	8
	<うち>中国語	(10)		辞書類	2
	ネパール語	(8)		絵本（日本語）	19
	英語	(6)		資料	1
	ポルトガル語	(5)		外国語図書（絵本含む）	15
	韓国語	(2)		学習教材	0
	ベトナム語	(1)			

◆定期刊行物

内容	購入点数(単位：冊)	フリーペーパーなど(単位：誌)
定期刊行物	日本語新聞	2
	雑誌・機関誌等	2
	外国語新聞	1
		0

◆民族楽器、民族衣装、民族教材

	民族衣装	民族楽器	民族教材	計(単位：件)
貸出(件数)	6	1	1	8
購入・寄付受付(件数)	21	2	5	28

◆情報交換ボードの提供

情報交換ボードを設置し、個人が自由に情報交換できるようにしている(掲示期間有り)。また、日本語ボランティア情報ボードも引き続き活用し、日本語交流活動で必要とされる情報を提供した。2022年11月末までとよなか国際交流センターの空調設備の改修工事を行っていたため例年より利用件数は少なかった。(利用件数:5件)。

◆ウェブサイト

協会ウェブサイトでは、日本語を含む11言語の多言語ページのお知らせウインドウを使い、各言語で新しい情報を随時提供した。

主催事業の新着情報等も随時更新し、常に最新情報を届けるようにした(協会ウェブサイトの年間訪問者数25,693件、多言語での情報提供ページの訪問数は8,333件)。

◆SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

主にFacebookを利用し、日々の活動の紹介やイベント案内、研修会の報告などを継続して行った。2022年度も引き続き多言語ページ(英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、スペイン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ベトナム語の9言語)を活用し、特に新型コロナウイルス感染症の拡大状況や支援について多言語による情報発信を重点的に行った。多言語版Facebookページでは、その他、毎月発行される外国人向け市政情報「とよなかしからのお知らせ」多言語版、防災に役立つ情報などを発信した。

また、2021年度に実施した「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究」において、豊中市内在住の外国人はFacebook以外にもLINEの利用者数が多かったことを受け、公式LINEアカウントを多言語で開設(2022年6月:日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、タイ語/2023年1月:ベトナム語)し、情報配信を開始した。

【協会のFacebookページのフォロワー数、「いいね!」数】

日本語ページ フォロワー数2,051人(前年度比161人増)、「いいね!」数1,789(前年度比132増)。

※2023年3月末現在

【協会公式LINEアカウントの登録者数】

日本語アカウント 113 ※2023年3月末現在

◆プレスリリースの発行:メディア各社向けにプレスリリースを随時発行。

◆メディア掲載歴

日時	掲載メディア	見出し/内容
2022年4月	月刊WAM 2022年4月号	外国にルーツをもつ若者が自分らしく過ごし、活躍できる場づくり
12月23日	朝日新聞	「在日コリアン」記述減り議論 「在日外国人施策に関する指針」20年ぶり府が改定へ
2023年2月20日	東京新聞	外国籍ヤングケアラー 支援を
2月20日	京都新聞	外国籍家庭のヤングケアラー 親の通訳 専門職代行へ
3月24日	毎日新聞	情報プラザ 国際交流フェスティバル

◆取材協力:メディア各社からの取材に随時協力。

② 市民活動協働事業

◆イベント「とよなか国際交流フェスタ」について

とよなか国際交流センター登録団体や事業ボランティアによる実行委員会形式で「とよなか国際交流フェスタ」を開催した。同フェスタはセンターで活動する登録団体の成果発表の機会ともした。

実施日	内容	場所	参加者数 (人)
3月25日(土) 10～15時	<ul style="list-style-type: none"> とよなか国際交流センターの登録団体によるステージ発表及びポスター発表（※発表で使用したパネルは引き続き、館内に掲示） 市民グループによるバザー 世界の料理や飲み物の販売 子どもの遊びコーナー（バルーンアート、世界の楽器体験、民族衣装体験、中国切り絵体験） ワールドクイズ大会など 	とよなか国際交流センター	3,900
合計			3,900

◆イベント「せかいのおばけやしき」の開催

例年8月にとよなか国際交流センターの貸室の利用率が下がり、来館者が減ることから、その時期に6階の全フロアを利用して「せかいのおばけやしき」を実施している（2018年度よりスタート）。2022年度は空調設備の大規模改修工事により、センターの半分の区域が工事中だったため、開催を見送った。

◆市民活動共同デスク

2010年度、とよなか市民活動ネットきずなの呼びかけで、(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21との5団体で編集委員会を作り、『2011とよなか市民活動ガイドブック』を作成した。これを機に、豊中における市民活動のさらなる活性化を図るために「市民活動共同デスク」を立ち上げ、ゆるやかなネットワークによる情報交換・発信を続けている。

その後、(公財)豊中市スポーツ振興事業団、豊中市市民活動情報サロンの受託団体が参加（市民活動ネットきずなの解散を経て2020年度からとよなかESDネットワークが参加）。豊中市スポーツ振興事業団の解散を経て現在の5団体となる。2020年度から壁新聞の発行がなくなり、各団体に共通する課題を設定して意見交換を行っている。今後も引き続き中間支援組織のゆるやかな情報共有ネットワークとして意見交換を継続する。

会議実施日	内容(場所)
6月3日	5団体意見交換会(市民活動情報サロン)
9月9日	5団体意見交換会(市民活動情報サロン)
12月8日	5団体意見交換会(市民活動情報サロン)
3月2日	5団体意見交換会(市民公益活動支援センター)

さらに、市民主体の国際交流活動を推進するため、地域で活動する国際交流をテーマとした市民団体・グループの運営に対する側面支援を以下の通り行った。

日付	取組の内容
通年	センターを拠点として活動するボランティアグループ「日本語支援グループ・むすびめ」「EPA Support Toyonaka」が実施する就労を目指す外国人のための日本語サポート事業、外国人介護福祉士候補者のための日本語支援を協働で実施した。
通年	市民団体からの相談対応。協会ウェブサイト「国際交流の活動を充実させたい市民グループの皆様へ」というページを設置して周知を図り、市民団体からの問合せに対して随時情報提供を行った。
情報交換	例年、とよなか国際交流センター登録団体との連絡会議、とよなか国際交流フェスタ実行委員会を行っている。2022年度はセンターの空調設備の大規模改修工事が11月末に終了し、その後、3月にとよなか国際交流フェスタを実施した。

◆しょうないREKへの参加

2005年、豊中市の「市民公益活動推進条例」による市民協働事業提案制度に基づき、市と市民が協働して庄内地域の環境・共生・活性化の課題に取り組む「しょうないREK」が立ち上げられた（しょうないREKはRecycle

[リサイクル]、Event [イベント]、Kawaraban : [かわら版] の頭文字を合わせた造語)。当協会としては、特に豊中市南部地域での関係機関・団体との連携を重点的に進めるため、実行委員会に参加し、イベントにも適宜協力をを行っている。5月19日には2021年度に実施した「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究」の内容について、特に豊中市南部地域の状況を中心に報告を行った。

また、「しょうないREK」はこれまで市民協働事業提案制度によって実施される事業名であったが、庄内コラボセンターが設立され、庄内図書館が同センター内に移転したことを機に、「しょうないREK」は市民協働事業提案制度の提案団体の名称に変わり、引き続き、庄内コラボセンターにおいて、リサイクル本の販売、イベントの実施、瓦版の発行、カフェスペース（庄内コラボセンター1階）の運営を行うこととなっている。協会も引き続き、しょうないREKの一構成団体として関わっている。

●しょうないREK 実行委員会

開催回数及び開催日	場所
14回 開催日：4月21日、5月19日*、6月16日*、7月21日*、9月15日*、9月30日（協働のためのマッチング交流会）、10月20日、11月17日、11月22日、12月5日（次年度準備会）、12月15日、1月13日（次年度準備会）、2月9日（次年度準備会）、3月16日	庄内公民館

*…書面開催

●その他の取組

- ・例年、とよなか国際交流フェスタで古本バザーを行っていたが、2022年度は同フェスタへの参加がとよなか国際交流センター登録団体に限られたため、古本バザーは行うことができなかった。

◆国際交流協会ネットワークおおさか

大阪府内の国際交流協会及び自治体を中心となって、地域の国際化、国際交流、国際協力、多文化共生に関わる諸問題に協力して、広域的に取り組んでいる。2022年度は定例の会議で情報交換を行ったほか、研修会や相談会を実施した。

実施日	参加者数（人） （うち外国人）	開催場所	構成団体
4月15日	13（2）	大阪国際交流センター & オンライン	【構成団体】 大阪府国際交流財団、大阪国際交流センター（アイハウス）、吹田市国際交流協会、とよなか国際交流協会、とんだばやし国際交流協会、箕面市国際交流協会 【オブザーバー】 大阪府国際課、和泉市人権・男女参画室、池田市人権・文化国際課、堺市国際課、NPO タブマネ ※案件に応じて、大阪弁護士会も参加
5月26日	15（2）		
6月24日	10（1）		
7月29日	11（1）		
9月6日	14（2）		
10月6日	5（1）		
11月1日	11（0）		
12月13日	9（1）		
1月13日	11（1）		
3月3日	11（1）		
合計	110（12）		

・研修会、シンポジウム等

実施日	参加者数（人） （うち外国人）	開催場所	内容
7月4日	20（5）	大阪国際交流センター	相談員研修（講師：山中京子さん）
11月15日	25（5）	大阪国際交流センター	国流ネットセミナー（講師：大阪弁護士会）
12月4日	8（3）	吹田市国際交流協会	外国人のための一日弁護士相談会（協力：大阪弁護士会）
2月4日	32（8）	大阪国際交流センター	国流ネット研修（講師：松浦ビスカルド篤子さん [シナビス]、瀬戸大作さん [反貧困ネットワーク]、金宣吉さん [神戸定住外国人支援センター]）
合計	85（21）		

・関係機関との協議等

国際交流ネットワーク会議の推薦を受け、大阪府外国人施策有識者会議に参加した。また、必要に応じて、施策推進を目的として関係各課と意見交換を行った。

実施日	参加者数 (人) (うち外国人)	開催場所	内容
11月21日	1 (0)	大阪府庁	大阪府外国人施策有識者会議
12月8日	3 (0)	とよなか国際交流センター	大阪府来館、意見交換
1月12日	3 (0)	とよなか国際交流センター	大阪府来館、事例紹介
3月17日	1 (0)	大阪府庁 (オンライン参加)	大阪府外国人施策有識者会議
3月20日	1 (0)	エル大阪	大阪府訪問、意見交換
合計	9 (0)		

◆中核市ネットワーク (NATS) について

西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市はいずれも中核市であるが、府県を越えて4市が隣り合っており、現在、4市では全庁的に広域連携を進めているところであり、多文化共生の分野においても、担当課及び国際交流協会を交えて情報交換や事業面での協力について検討を進めている。

2022年度は各窓口に来た学習者への対応の資料として、各市における日本語教室の状況を一覧にした資料を作成し、共有した。また、情報交換会や講演会、研修会以外にも、情報交換や情報提供、人材の紹介を行うなどして、日常的な協力関係が作られている。

・情報交換会等の実施

実施日	参加者数 (人) (うち外国人)	開催場所	内容
5月26日	14 (1)	西宮市国際交流協会	ミーティング*1
7月4日	16 (1)	オンライン	ミーティング*1
8月29日	13 (1)	オンライン	ミーティング*1
9月22日	14 (0)	オンライン	ミーティング*1
10月27日	48 (10)	千里市民センター大ホール	外国人の子どもの学習権講演会*2
1月19日	10 (1)	西宮市国際交流協会	ミーティング*1
2月2日	15 (10)	尼崎市役所	解決困難な在留資格相談対応研修会
合計	130 (24)		

*1...ミーティングは新型コロナウイルス対策、ウクライナ避難民に対する対応、4市協働での取組について

*2...主催は吹田市、(公財)吹田市国際交流協会。他のNATS構成メンバーは共催。

◆多文化まなびあいネットについて

2021年度、コロナ禍における外国人市民の生活等への影響を明らかにするため、豊中市と共同で市内在住の外国人に対し、アンケート・インタビュー調査を行い、「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究報告書」をまとめた。調査の実施に当たっては、豊中市は豊中市多文化共生施策推進連絡会議（事務局：豊中市）に本調査研究に関する専門部会を設置し、関係機関・団体の参加を得て行った。

2022年度は、2021年度に設置した専門部会をベースに、地域で多文化共生に取り組む機関・団体が学び合い、協力・連携を進めていくためのプラットフォームとするため、「多文化まなびあいネット」（略称：たぶなび）という会議を設置し、協議をスタートした。

実施日	内容	場所	参加者数 (人) (うち外国人)
7月28日	各団体の取組の紹介	オンライン	23 (3)
12月9日	防災に関する取組等について情報交換	とよなか国際交流センター	18 (2)
合計			41 (5)

◆市民団体との連携及び運営支援

団体からの国際交流に関する相談窓口を設置し、随時相談に対応した他、団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。さらに、市民団体の運営協力（助成金獲得に関する助言や推薦書の作成等）も行うほか、市民団体との事業に共催・後援を行った。

とよなか国際交流センターの登録団体（19団体）との連絡会議を開催した（オンラインで実施）。また、登録団体と協働で国際交流フェスタを3年ぶりに開催した。

③ 留学生ホストファミリー事業

◆世話人会定例会：メンバー11人。毎月第3木曜日 全9回実施（8月、10月、12月は中止）

◆ホストファミリーボランティア数：登録家族60家族（新型コロナウイルス感染拡大防止のため登録説明会は中止）

2022年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年実施している登録説明会（年2回）、大阪大学及びJASSO（日本学生支援機構大阪日本語教育センター）留学生とのマッチング・対面式・交流、留学生とボランティアとの交流会（年3～4回）、講演会への参加等は実施できなかった。しかし、コロナ禍以降は作成できていなかったニュースレターの特別号を発行したり、協会イベントのお手伝いを行ったりすることができた。また、2023年度の交流に関して大阪大学のOHP連絡協議会に参加したり、JASSO担当者との意見交換を行うことができた。

(2) おとな国際事業

① にほんご活動事業

◆もっともつつかえるにほんご、千里にほんご、とよなかにほんご木ひる、とよなかにほんご金あさ、にちようがちゃがちゃだん、南部日本語、オンラインにほんご（つながれとよなかオンライン!）

にほんご活動事業の各活動は、日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアによって自律的に運営されている。外国人市民と日本人市民が出会い、日本語で交流を図る場として週4日（計7活動）開催した。なお、大阪モデル「非常事態（赤信号点灯時）」や豊中市における感染者数の増加期間には、対面ではなくオンラインに切り替えて実施した時期（主に8月と9月）もあったが、参加者数は前年度より1,759人（うち外国人1,087人）増え、実施回数も前年度より11回増えた。活動形態で見ると、オンラインでの活動回数は減り、対面での活動回数は前年度より136回と大幅に増加した。ボランティアと学習者はセンターに戻りつつあり、日々の活動が日本語学習の場だけではなく、学習者の居場所や様々な情報源として生活を支えている場となっている。

2020年度に「持続可能な地域づくり事業」として始め、2021年度から「おとな国際事業」に位置付けている「南部日本語」は、活動場所が庄内文化センターから庄内コロボセンター「ショコラ」へ移り、名称も「庄内にほんご」に変え、新しいスタートを切った。「オンラインにほんご（名称：つながれとよなかオンライン!）」も同様におとな国際事業へと位置付けを変えているが、2023年4月からボランティア中心に運営を進めるための準備を進めている。

事業名	曜日	実施時間	参加者数（人）（うち外国人）	実施回数
もっともつつかえるにほんご	月	10:00～12:00	1,129 (535)	44回 (うちオンライン7回・対面37回)
千里にほんご	木	10:00～11:30	542 (181)	43回 (うちオンライン7回・対面36回)
とよなかにほんご・木ひる	木	13:30～15:20	1,708 (828)	44回 (うちオンライン13回・対面31回)
オンラインにほんご	木	19:00～20:00	933 (557)	36回 (オンライン開催のみ)
とよなかにほんご・金あさ	金	10:30～12:00	1,991 (1,001)	49回 (うちオンライン [Zoom金あさ] のみ で活動4回、オンラインと対面で活動 43回、対面のみで2回)
にちようがちゃがちゃだん	日	10:00～12:00	1,027 (618)	47回 (うちオンライン6回、対面41回)
南部日本語 (※2023年2月26日より 「庄内にほんご」に名称変更)	日	13:00～15:00	797 (557)	40回 (うちオンライン7回、対面32回、 対面&オンライン1回)
合計			8,127 (4,277)	303回

※同日にオンラインと対面の両方で開催しているときは、合わせて1回としてカウントしている。

●日本語関連研修等への参加

- ・2月24日（金）識字・日本語豊中連絡会@豊中市立地域共生センター 3階大会議室

●日本語自主グループとの情報共有

- ・自主グループとメールでのやり取りを通じて、密に情報共有をした。

◆おかまち・おやこでにほんご、しょうない・おやこでにほんご、せんり・おやこでにほんご

「保育がない」「子どもが慣れない」「家から遠い」などの理由で、日本語教室に参加しにくい乳幼児連れの外国人女性や、子どもがある程度大きくなった外国人女性が気軽に参加できる居場所を提供した。具体的にはとよなか国際交流センター以外の公共施設として岡町図書館、庄内図書館、千里図書館を利用し、日本人親子のボランティアと外国人親子の交流を行った。子育て中の外国人女性が安心して生活や子育てなどの情報交換ができ、悩みを相談できる場、リフレッシュできる場づくりを行った。

2022年度は、新型コロナウイルスへの感染対策を万全に行いながら、従来実施していた料理会や屋内での活動も徐々に活動を再開し、対面での定期的な居場所の開催ができた。なお、「しょうない・おやこでにほんご」は、昨年度ボランティアの不足などから活動できない時期があったが、今年度は隔週で活動を再開した。

また、3おやこ（おかまち・おやこでにほんご、しょうない・おやこでにほんご、せんり・おやこでにほんご）で合同の交流会や連絡会等を開催した。

おやこでにほんご（おかまち、しょうない、せんり）の参加者数（人）	935（うち外国人413）
----------------------------------	---------------

●おかまち・おやこでにほんご

活動場所	岡町図書館3階、とよなか国際交流センターなど
活動期間／活動回数	2022年4月12日～2023年3月14日 / 37回
活動日時	毎週火曜日午前10：00～12：00
参加者数（人）	のべ452（うち外国人223 [おとな127/子ども96]、ボランティア229 [おとな185/子ども44]）

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月12日	おしゃべり会@図書館	10月25日	ハロウィンパーティ@とよなか国際交流センター
4月19日	おしゃべり会@図書館	11月1日	お話し会@とよなか国際交流センター
4月26日	こどもの日クラフト@図書館	11月8日	トランプ@図書館
5月17日	クッキング ハイティール@料理室（とよなか国際交流センター）	11月15日	おやこ合同イベント みかん狩り@山本農園
5月24日	おしゃべり会@図書館	11月22日	おしゃべり会@とよなか国際交流センター
5月31日	クラフト打ち合わせ@図書館	11月29日	物々交換@とよなか国際交流センター
6月7日	ピアノ演奏、てるてる坊主作り@とよなか国際交流センター	12月6日	おしゃべり会@とよなか国際交流センター
6月14日	今後の計画の打ち合わせ@図書館	12月13日	お料理会 ペルー料理@お料理室（とよなか国際交流センター）
6月21日	クラフト ジャンピングかえる@図書館	12月20日	お楽しみ会（おかまちのみ）プレゼント交換、まつぼっくり工作@とよなか国際交流センター
6月28日	物々交換@図書館	1月17日	お誕生日会@とよなか国際交流センター
7月5日	七夕飾り作り、金魚すくい@とよなか国際交流センター	1月24日	おしゃべり会@図書館
7月12日	歌の披露、演奏会、童話、ストレッチ@国際交流センター	1月31日	お誕生日会@とよなか国際交流センター
9月6日	おしゃべり会@とよなか国際交流センター	2月7日	おしゃべり会@とよなか国際交流センター
9月13日	おしゃべり会@図書館	2月14日	クラフトバレンタインカード@図書館
9月20日	おりがみでお弁当作り@とよなか国際交流センター	2月21日	合同お楽しみ会&ワークショップ@とよなか国際交流センター
9月27日	秋の歌、おりがみで手裏剣@とよなか国際交流センター	2月28日	クラフト ひなまつり@図書館
10月4日	おしゃべり会@とよなか国際交流センター	3月7日	バザー準備@とよなか国際交流センター

10月 11日	おしゃべり会（ハラルフード店）@とよなか国際交流センター	3月 14日	バザー準備 2@とよなか国際交流センター
10月 18日	ハロウィン準備@とよなか国際交流センター		

※ 新型コロナ感染対策防止のため、岡町図書館の広い集会室が使用できない際、あるいは活動内容に応じて、場所をとよなか国際交流センターに変更して活動を行った。

●しょうない・おやこでにほんご

活動場所	庄内図書館3階 [2022年12月まで]、庄内コラボセンター2階（庄内図書館、会議室）など
活動期間／活動回数	2022年5月24日～2023年3月21日 / 21回
活動日時	隔週火曜日午前10:00～12:00
参加者数（人）	のべ133（うち外国人37 [おとな18/子ども19]、ボランティア96 [おとな50/子ども46]）

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
5月 24日	おしゃべり会	11月 1日	おしゃべり会
5月 31日	おしゃべり会	11月 15日	おやこ合同イベント みかん狩り@山本農園
6月 14日	おしゃべり会	12月 6日	おしゃべり会/図書館移転のための荷物仕分け
6月 28日	おしゃべり会	12月 20日	おしゃべり会/図書館移転のための荷物仕分け
7月 5日	おしゃべり会	1月 17日	おしゃべり会@庄内和居輪居*
7月 12日	おしゃべり会	1月 31日	おしゃべり会@庄内和居輪居*
9月 6日	おしゃべり会	2月 7日	おしゃべり会@庄内和居輪居*
9月 20日	おしゃべり会	2月 21日	合同お楽しみ会&ワークショップ@とよなか国際交流センター
10月 4日	おしゃべり会/ハロウィン準備	3月 7日	おしゃべり会（庄内コラボセンターでの活動開始）
10月 18日	おしゃべり会/ハロウィン準備	3月 21日	ヨガイベント
10月 25日	ハロウィンイベント		

*…移転に伴う庄内図書館の休館のため、豊中市社会福祉協議会の協力により、庄内地域にある地域共生拠点「庄内和居輪居」で活動を行った。

●せんり・おやこでにほんご

活動場所	千里図書館集会室、千里公民館料理室など
活動期間／活動回数	2022年4月22日～2023年3月14日 / 37回
活動日時	毎週火曜日午前10時～12時
参加者数（人）	のべ 350（うち外国153 [おとな101、子ども52]、ボランティア197 [おとな152、子ども45]）

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月 12日	おしゃべり会	10月 18日	ハロウィンキャンディバッグ作り
4月 19日	おしゃべり会	10月 25日	ハロウィンパーティー
4月 26日	子どもの日クラフト	11月 1日	バルーンアート
5月 10日	おしゃべり会	11月 8日	物々交換会
5月 17日	おしゃべり会	11月 15日	おやこ合同イベント みかん狩り@山本農園
5月 24日	おしゃべり会	11月 22日	絵本カバーでバッグ作り
5月 31日	おしゃべり会&新規ボランティア受け入れ	11月 29日	お料理会 スイートポテト
6月 7日	おしゃべり会&新規ボランティア受け入れ	12月 6日	クリスマスカード作り
6月 14日	あじさいうちわクラフト	12月 13日	2学期お疲れ様パーティー
6月 21日	物々交換会	1月 17日	正月遊び
6月 28日	読み聞かせ	1月 24日	中国料理会
7月 5日	七夕祭り	1月 31日	節分クラフト
7月 12日	1学期お疲れ様パーティー	2月 7日	バレンタインクラフト
9月 6日	おしゃべり会	2月 14日	バレンタインスイーツ作り
9月 13日	読み聞かせ	2月 21日	合同お楽しみ会&ワークショップ@とよなか国際交流センター

9月20日	紙皿シアター	2月28日	ひなまつりクラブト
9月27日	バラバラ絵本	3月7日	桜クラブト
10月4日	お料理会 さつまいもご飯 きのご飯 豚汁	3月14日	お楽しみ会
10月11日	読み聞かせ		

●3 おやこ合同芋ほり交流会

実施日	内容	場所	参加者数(人)(うち外国人)
11月5日(土) 10～15時	芋ほり、交流会	緑と食品のリサイクルプラザ (豊中市原田中)	50(25) ※16家族[おとな25人、子ども25人]
合 計			50(25)

※協力：特定非営利活動法人 花と緑のネットワークとよなか

●3 おやこ連絡会

実施日	内容	場所	参加者数(人)
4月19日(火) 13～14時	ミーティング	オンライン開催	8 (うちボランティア7人、職員1人)
9月20日(火) 13～14時	ミーティング	オンライン開催	9 (うちボランティア8人、職員1人)
1月17日(火) 13～14時	ミーティング	オンライン開催	8 (うちボランティア7人、職員1人)
合 計			25

●3 おやこ合同ワークショップ

活動の現状と課題について共有し、今後の目標について検討した。

実施日	内容	場所	参加者数(人)
10月27日(木) 13～14時	ワークショップ	とよなか国際交流センター	8 (うちボランティア7人、職員1人)
11月17日(木) 13～14時	ワークショップ	とよなか国際交流センター	10 (うちボランティア9人、職員1人)
合 計			18

●協力・その他

<外部受入れ>

- ・7月5日(火) 大阪府教育庁 (おかまち・おやこでにほんごの見学 1人)

<発表>

- ・9月2日(金) 令和4年度 近畿地区社会教育研究大会(奈良大会)「第5分科会 人権教育」において「おやこでにほんご」の取組について発表

<事例紹介>

- ・大阪府ウェブサイト「さまざまな主体が連携・協力した地域活動-実践事例集」でも取り上げられた。

② 多文化共生推進事業

◆世界を食べよう

2014年度より、地域の日本人が異文化に触れる機会を作るため及び講師を務める外国人のエンパワメントにつながる機会を作るため、料理を通じた国際理解プログラム「世界を食べよう」を開催している。地域在住の外国人が講師を担当している。飲食を伴う活動であることから、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度以降、調理を含む活動を見合わせている。

今年度は2020年度末に発行した“世界の家庭料理レシピ集『世界を食べよう』”の頒布や広報を精力的に行うとともに、昨年に引き続き、料理のお話を通じた国際理解プログラム「世界を食べよう～美味しい話編」を計2回開催した。地域に暮らす外国人を講師として招き、世界の様々な国や地域の文化や歴史について、食の観点からお話をいただいた。また、とよなか国際交流センターではなく、庄内公民館でのプログラム「みんなで学校ごっこ」内及びBasic 珈琲(豊中市西緑丘。レシピ本の委託販売先)で開催した。市北部に位置するとよなか

国際交流センターとは異なる場所で開催したことで、普段、センターの活動になかなか参加できない人の参加を得ることができた。

レシピ集『世界を食べよう』の有料頒布数	91冊
---------------------	-----

●世界を食べよう～おいしい話編

開催日	実施内容	講師名	場所	参加者数(人) (うち外国人)
8月26日	韓国編	イム・スミンさん	庄内公民館	11(1)
9月23日	ブラジル編	西本マルガリーダ京子さん	Basic 珈琲	12(1)
合 計				23(2)

※韓国編は庄内公民館でのプログラム「みんなで学校ごっこ」内で開催。

◆多文化多言語セミナー

「パンソリを楽しもう～安聖民パンソリライブ～」

パンソリ唄者と鼓手による演奏とトークをすてっぷホールで開催した。とよなか人権文化まちづくり協会ととよなか男女共同参画推進センターすてっぷが共催、在日本大韓民国民団大阪府豊能支部の協力などにより、これまでセンターにつながっていなかった方々にも広く参加していただけた。

実施日	テーマ	講師	参加者数(人) (うち外国人)
3月25日	パンソリを楽しもう ～安聖民パンソリライブ～	安聖民さん(パンソリ唱者) 李昌燮さん(鼓手)	107(31)
合 計			107(31)

「世界の『ミカタ』～親子で楽しむ国際交流～」

2021年度に新しくスタートした国際理解プログラム。今年度は対象を「小学生以上の方はどなたでも」としたことで、幅広い年齢層や背景を持つ方々に参加いただけた。文化や言葉について知るだけではなく、グループワークや疑似体験を通して「ちがいが」「あたりまえ」「多様な価値観」等について積極的に考え、意見交換する場を提供した。

実施日	テーマ	講師	参加者数(人) (うち外国人)
2月23日	世界の『ミカタ』～みんなで楽しむ国際交流～	姜秀京さん、溝越茜さん	12(4)
合 計			12(4)

◆日本文化紹介 「外国人のための浴衣体験」

日本の和服(浴衣)を着用し、写真撮影や館内散歩をするイベントを外国人向けに開催した。

実施日	テーマ	参加者数(人) (うち外国人)
7月8日	外国人のための浴衣体験	12(11)
合 計		12(11)

◆コモとスースの絵葉書プロジェクト

市民から募集した当協会キャラクター「コモとスース」のイラストの絵葉書を5枚1組で作成し、2017年度より継続して頒布している。

◆国流シネマカフェ/とよなかシネコン

国流シネマカフェは、国際交流や人権に関する映画を上映し、社会的課題について新たな気付きを促す企画として実施している。2022年度は国流シネマカフェとして2回上映会を実施した(次ページ、表中の第2回、第3回が該当。場所はすてっぷホール)。

また、国流シネマカフェに加え、市内公共施設が取り組む課題や社会問題について映画を通して考えるきっかけにもらうため、市内公共施設とのコラボ企画「とよなかシネコン for kids」を開催した（※なお、第1回については、空調設備の改修工事によりすてっぷホールが使用できないこと、また、とよなか国際交流センターに普段アクセスできない市民へのアプローチをねらい、千里公民館で開催した）。参加団体はとよなか市民活動情報サロン、中央公民館、アジェンダ 21、とよなか人権文化まちづくり協会と当協会。夏休み期間に開催時期を合わせ、子ども向けの映画を上映した。

	開催日	上映作品	参加者数 (人) (うち外国人)
第1回	8月14日	「ハリーポッターと賢者の石」(千里公民館で実施) ※ とよなかシネコン for Kids*の一環として上映。	54 (6)
第2回	1月15日	「きつとうまくいく」 ※英語音声、日本語字幕	46 (3)
第3回	3月19日	「アイアンマン」	43 (4)
合計			143 (13)

*...とよなかシネコン for kids の上映作品、スケジュールについては以下のとおり。

[1]	7月23日	マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～ [アジェンダ21]
[2]	7月26日	おしえて！カミナリ先生～気候変動×防災～ [市民活動情報サロン]
[3]	8月3日	怪盗グループのミニオン大脱走/100ばんめのサル [とよなか人権まちづくり協会]
[4]	8月10日	おこんじょうり/注文の多い料理店 [中央公民館]
[5]	8月14日	ハリーポッターと賢者の石 [とよなか国際交流協会]
[6]	8月19日	トロールズミュージック★パワー [とよなか人権文化まちづくり協会]

◆とよなか国流の30年を振り返る～ボトムアップで進めてきた多文化共生のまちづくり～

[とよなか国際交流協会、とよなか国際交流センター設立30周年関連事業 part.1]

2023年10月に当協会が設立30周年を迎えることを踏まえ、当協会では今の社会状況に合わせたビジョン、ミッション及び中長期計画を策定する予定である。それらの検討の前段階として、当協会のこれまでの取り組みを振り返り、参加者において共有するために開催した。

内容は、[1] 協会が設立されるまでの社会状況や設立のねらい、[2] 協会が設立されてからの事業展開、[3] 協会と深く関わってきた市民や事業ボランティア、多言語スタッフからのメッセージであり、それらを基に振り返りを進めた。

実施日	テーマ	参加者数 (人) (うち外国人)
2月5日	とよなか国際交流協会の30年を振り返る 登壇者：田中逸郎さん (NPO 法人 NPO 政策研究所理事、元豊中市副市長) 榎井縁さん (大阪大学大学院特任教授) ※ そのほか、協会と深くかかわってきた市民や事業ボランティア、 多言語スタッフからのメッセージ	65 (8)
合計		65 (8)

◆ATOMSの未来を考えるワークショップ

[とよなか国際交流協会、とよなか国際交流センター設立30周年関連事業 part.2]

2023年10月に当協会が設立30周年を迎えることを踏まえ、当協会では今の社会状況に合わせたビジョン、ミッション及び中長期計画を策定する予定である。それらの検討の前段階として、当協会の今後について広く関係者の声を集めるワークショップを開催した。

内容は、[1] 「15年後のATOMSがどうなっているか」、[2] 「自分がATOMSでできることは何か」等であり、グループごとにディスカッションと全体での意見・アイデアの共有を行った。

実施日	テーマ	参加者数 (人) (うち外国人)
3月11日	ATOMSの未来を考えるワークショップ ファシリテーター：田中成幸さん (合同会社Co-Work)	52 (10)
合計		52 (10)

(3) 持続可能な地域づくり事業

① 市民ゼミナール・メディア・リテラシー

実施日	テーマ	講師	場所	参加者数 (人) (うち外国人)
3月18日	外国人のためのメディア・リテラシー講座 ～子どもとメディア～	田島知之さん(京都府立大学非常勤講師)、 登丸あすかさん(文京学院大学助教)	とよなか国際交流センター	12(9)
合 計				12(9)

[1] 参加者同士の「対話の文化」を作ること、[2] 参加者一人ひとりが持つ価値観や社会の見方がメディアを通してどのように形成されてきたかを知り、メディア社会を主体的に生きる視点を獲得すること、[3] マイノリティ市民の視点で考える力を獲得することを通して、「多様な人々が尊重される地域づくり」を推進することを目指している。

外国人保護者からの相談内容で、子どもとメディアの付き合い方に関するものが増えてきたことから、2022年度は「子どもとメディア」をテーマに、初めて外国人向けのメディア・リテラシーの講座を開催した。

(2) 持続可能な開発のための教育 (ESD) ・防災・地域貢献

国際連合が提唱し、2005年から始まった「持続可能な開発のための教育 (ESD) の10年」を受け、ESD とよなかは2005年2月にキックオフを行った。豊中市と市民活動中間支援団体(6団体)が事務局会議を行い、緩やかにつながりながら10年間活動を行ってきた。その活動内容を踏まえ、2015年にESD とよなか連絡会議をスタートさせ、現在も関係団体で協働して継続的に活動を行っている。

2022年度は各構成団体のコロナ禍での取組状況の共有のほか、ESD とよなか連絡会議の進め方について意見交換を行い、今後の進め方について認識のすり合わせを図った。

◆2022年度 ESD とよなか連絡会議

実施日	参加者数 (人) (うち外国人)	開催場所	内容
9月13日	5 (2)	人権平和センター豊中	準備会打合せ
11月8日	11 (2)	人権平和センター豊中	連絡会議
12月27日	11 (2)	人権平和センター豊中	連絡会議
2月2日	11 (2)	人権平和センター豊中	連絡会議
合 計	38 (8)		

[構成団体&機関名]

(NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21、一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会、
一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団、公益財団法人とよなか国際交流協会、
社会福祉法人豊中市社会福祉協議会、NPO 法人とよなかESD ネットワーク、
豊中市 [環境政策課、市民協働部千里地域連携センター、人権政策課、社会教育課])

◆国際理解教育などの講師の派遣など

全部で50件、81人(17か国)を派遣した。内容も講師の出身国や地域の生活・文化・言葉の紹介のほか、当協会の事業の紹介、豊中市の多文化共生に関する取組や制度の現状、外国人の状況など多様であり、対象も学校やこども園、市役所職員や一般向けセミナーなど幅広く対応した。また、2022年度も依頼先により、オンライン (Zoom) による対応も行った。

	実施日	派遣先、内容	講師 (ルーツを記載)	講師の人数 (人)
1	5月～通年	庄内こどもの杜幼稚園 (国際交流事業)	韓国	1
2	6月 4日	岐阜県清流の国推進部@オンライン (岐阜県日本語教育人材育成研修会)	日本 (職員)	1
3	6月 13日	吹田市立豊津西中学校 (韓国の紹介)	韓国	1
4	6月 17日	豊中市立第十一中学校 (2年生 総合学習)	フランス、タイ、ブラジル、エクアドル、中国、韓国、オーストラリア、インドネシア	9
5	6月 25日	日本社会教育学会 第40回関西研究集会@オンライン (豊中での取組の報告)	日本 (職員)	1
6	7月 7日	大阪府北部コミュニティカレッジ@地域共生センター (異文化交流・だれもが安心して暮らせるまちづくり)	日本 (職員)	1
7	7月 7日	豊中市保健所感染症予防係 (外国人向け結核予防啓発に関わる勉強会)	日本、ネパール、フィリピン (職員)	3
8	7月 14日	関西大学北陽高校 (2年生 人権学習)	エクアドル	1
9	7月 21日	豊中市立熊野田小学校 (教職員向け研修)	日本 (職員)	1
10	7月 22日、27日	大阪総合保育大学 (多様性を尊重する保育・幼児教育)	日本 (職員)	1
11	7月 26日	NPO法人市民ネットすいた@オンライン (中間支援団体、市民公益活動センターの職員研修)	日本 (職員)	1
12	7月 27日	(公財) 兵庫県国際交流協会 (コーディネーター育成研修①)	日本 (職員)	1
13	8月 16日、17日	豊中市教育センター@豊中市立第四中学校 (教職員2年目研修)	日本 (職員)	1
14	8月 24日	(公財) 兵庫県国際交流協会 (コーディネーター育成研修②)	日本 (職員)	1
15	8月 29日	枚方市教育委員会@枚方中央図書館 (傾聴のワークショップ)	日本 (職員)	1
16	9月 2日	(公財) さわやか福祉財団@プリンスホテル新高輪 (いきがい・助け合いサミット in 東京)	日本 (職員)	1
17	9月 2日	大阪府教育庁@奈良 100 年会館 (近畿地区社会教育研究大会)	日本 (職員)	1
18	9月 7日	豊中市小中学校教育研究会 学校給食研究会 (国際理解と食について/ベトナム)	ベトナム	1
19	10月 7日	大阪府教育センター (人権教育研修「多文化共生の取り組みに学ぶ」)	日本 (職員)	1
20	10月 15日	とよなか地域創生塾@人権平和センター豊中 (とよなか国際交流協会の活動紹介)	日本 (職員)	1
21	10月 20日	ヒューライツ大阪@大阪女学院大学 (人権教育講座)	日本 (職員)	1
22	10月 24日	大阪府立福井高等学校 (ドリカムサーチデイ)	日本 (職員)	1
23	10月 26日	(公財) 兵庫県国際交流協会 (コーディネーター育成研修③)	日本 (職員)	1
24	10月 28日	豊中市立庄内図書館 (人権研修「地域の多文化共生～調査報告より～」)	日本 (職員)	1
25	11月 1日	豊中市立桜井谷小学校 (1年生 スペイン語についてしろう)	エクアドル	1
26	11月 2日	豊中市立第十八中学校 (多文化共生教育)	韓国、エクアドル	2
27	11月 6日	吹田市国際交流協会 (ボランティアについて考える)	日本 (職員)	1
28	11月 10日	豊中市立第五中学校 (人権総合学習～国際理解教育～)	韓国、中国、ペルー、ブラジル	4
29	11月 11日	豊中市立第一中学校 (国際理解教育)	フィリピン、中国、台湾、ベトナム、インドネシア	5
30	11月 14日	豊中市立豊島西小学校 (国際理解教育6年生 韓国について)	韓国	1
31	11月 14日、25日、30日	大阪府立豊中支援学校 高等部 (国際交流と異文化体験①)	台湾	1

32	11月15日	大阪大学人間科学部（生涯教育学 多文化社会における学外団体による教育支援）	日本（職員）	1
33	11月19日	ドーン財団@モアいずみ 和泉市男女共同参画センター（モアいずみ塾）	日本（職員）	1
34	11月20日	とよなかESDネットワーク@豊中市すこやかプラザ（サンプルのボランティア活動紹介）	日本	2
35	11月26日	豊中青年会議所@千里中央公園（世界の遊びコーナー）	インドネシア、タイ、韓国、ペルー、ネパール、中国	6
36	11月26日	豊中青年会議所@千里中央公園 （パフォーマンスタイム ※間に入りコーディネート）		
37	11月29日	公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団@オンライン（地域における多文化共生に関する職員研修）	日本（職員）	1
38	12月6日	豊中市立第七中学校（全校生徒向け「マイクロアグレッションについて」）	フィリピン	1
39	12月10日	神戸外国人定住支援センター（とよなか国流の取組について[調査研究など]）	日本（職員）	1
40	12月14日	大阪府立鶴見商業高等学校（全校生徒向け「人権講和～多文化共生～」）	エクアドル	1
41	12月16日、20日	豊中市立桜井谷小学校（2年生 韓国について知ろう）	韓国	1
42	12月18日	日本ボランティアコーディネーター協会@オンライン（コーディネーション研究集会）	日本（職員）	1
43	12月9日、14日、16日	大阪府立豊中支援学校 高等部（国際交流と異文化体験②）	台湾	1
44	1月27日	豊中市立第九中学校（1年生 国際理解教育）	クロアチア、ベトナム、エジプト、韓国、中国	9
45	2月8日	大阪市ダイバーシティ（大阪多文化共生シンポジウム）	日本（職員）	1
46	2月17日	守口市立守口小学校@オンライン（外国人の防災について）	日本（職員）	1
47	2月20日、21日	豊中市立少路小学校（やさしいまち・総合学習）	日本（職員）	1
48	2月25日	とよなかESDネットワーク@庄内コラボセンター（未来バトンリレーションフォーラム2030）	日本（職員）	1
49	3月13日	関西大学北陽高等学校（後期人権教育講演会）	フィリピン	1
50	3月19日	大阪大学大学院人間科学研究科@梅田スカイビル（公共サービスラーニング10周年記念「収穫祭」への参加&グループワーク助言）	日本（職員）	1
			合計	81

◆WORLD FESTA 2022 への協力（主催：一般社団法人豊中青年会議所）

一般社団法人豊中青年会議所は11月26日に千里中央公園でWORLD FESTA 2022を実施した。その際、サムルノリ演舞、「世界の遊びを体験しよう！」コーナーの講師及び内容のコーディネート、「世界のものに触れよう！」（物販ブース）について出店者のコーディネートをを行った。

実施日	内容	のべ参加者数（人）
2022年11月26日	WORLD FESTA 2022の講師、出店者のコーディネート	60（50）*
合計		60（50）*

*...コーディネートをを行った講師、出店者数

◆多文化共生先進取組事例「体験塾」 in 大阪のコーディネート (主催: CLAIR/一般財団法人自治体国際化協会)

一般財団法人自治体国際化協会が主催する多文化共生先進取組事例「体験塾」 in 大阪において、企画立案(訪問先や視察内容の選定、スケジュール調整等)に関する助言、プログラムにおけるコーディネート業務(プログラムでは総括ファシリテーターとして活動)を行った。

実施日	内容	のべ参加者数(人)
2023年1月23日～1月25日	豊中市、箕面市、生野区における多文化共生に関する取組の視察及び多文化共生に関するワークショップの実施	24(3)
合計		24(3)

◆多文化共生の推進などに関する委員の派遣等

当協会の取組や実績に関連して、豊中市以外の機関・団体等から委員会への参加を依頼された。

実施日	内容	のべ参加者数(人)
2022年11月21日 2023年3月17日	大阪府外国人施策有識者会議 [委員] ・大阪府外国人施策に関する指針の改正について ・大阪府在日外国人施策の実施状況(令和4年度)について	1(0)
2023年1月31日 2月13日	一般社団法人多文化専門職機構 [評価委員] ・令和4年度地域日本語教育コーディネーター研修・地域日本語教育の総合的な体制づくり推進のためのコーディネーター研修(文化庁委託事業)	1(0)
2022年5月31日 11月29日 2023年3月13日	一般財団法人ダイバーシティ研究所 [運営委員] ・令和4年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語教育実践プログラム(文化庁委託事業)	1(0)
合計		3(0)

◆外国人向け新型コロナウイルスワクチン集団接種会場における多言語対応

日本語の理解が難しい外国人市民に不安なく安心してワクチンを接種してもらうための環境整備及び、接種案内や予約、接種会場での対応を多言語で行うことで、情報が届きにくい外国人市民のスムーズなワクチン接種を推進した。

実施日	内容	場所	のべ参加者数(人)
2022年4月2日～6月25日 の隔週土曜日	新型コロナウイルスワクチン接種会場における外国人対応*	とよなかハートパレット	80 (内接種者41, 通訳・スタッフ39)
合計			80

*...外国人対応の内容(協会で実施した業務)

- | | |
|---|----------------------|
| [1] 多言語WEB予約受付システムでの受付業務・問合対応
[2] 多言語案内の作成と広報
[3] 接種会場の通訳者コーディネート/当日の会場運営
[4] 外国人向け情報提供・相談対応 | ※同システムは2021年度に当協会が作成 |
|---|----------------------|

◆その他

●幸せの黄色いレシートキャンペーン

イオングループが行っているもので、毎月11日の買い物時に発行される黄色いレシートを客が地域の応援したい団体の投函BOXへ入れると、買い上げ金額合計の1%分の品物が寄贈されるキャンペーン。当協会は「ダイエー曾根店」にて参加している。

期間	金額	寄贈品
2022年上期・下期(2022.4～2023.3)	11,757円	CDプレイヤー、消毒液、絆創膏 他

(4) 持続可能な人づくり事業

① ボランティア研修事業

2022年4月と8月に「南部にほんご・オンラインにほんごボランティア養成講座 兼 日本語ボランティアフォローアップ研修」を実施した。また、昨年度、「日本語ボランティア養成講座」は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により実施できなかったが、今年度はオンラインで実施した。新規ボランティアは10月の養成講座後、予定通り11月に活動を見学し、12月から活動に参加している。また、2023年2月にはボランティア全員を対象にフォローアップ研修を行い、新規ボランティアの不安解消と現役ボランティアのブラッシュアップを図った。

「多文化子育て支援ボランティア養成講座」に関しても、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、オンラインで実施した。

◆南部にほんご・オンラインにほんごボランティア養成講座 兼 日本語ボランティアフォローアップ研修 (第1～3回は対面での開催、第4回はオンライン開催)

	実施日	テーマ	講師	参加者数 (人)
第1回	4月10日 13:00～15:00	「地域で学ぶ日本語学習教材 話して書いて 伝え合う 私のこと・あなたのこと」発行のねらいと使い方について	亀田美保さん (大阪 YMCA 日本語教育センター センター長)	21
第2回	4月17日 13:00～15:00	地域での日本語交流を考える—『きいて まねして はなして』発行のねらいと活用方法	矢谷久美子さん (日本語教育支援グループ「ことのは」代表理事)	23
第3回	4月24日 13:00～15:00	実際の活動を知ろうー テキストを用いながらの日本語交流活動 現場より	南部にほんごとオンラインにほんごのボランティアの皆さん	19
第4回	8月6日 13:30～16:30	地域で学ぶ 入門期からの日本語学習教材「きいてまねしてはなして」を使ってみての疑問や悩みを共有しよう—みんなで楽しく創りませんか? 「対話」と「協働」の実践活動@地域日本語教室—	安田乙世さん (NPO 法人おおさかこども多文化センター理事/日本語教育支援グループことのは副理事長)	31
合 計				94

◆日本語ボランティア養成講座 (オンラインでの開催)

	実施日	テーマ	講師	参加者数 (人)
第1回	10月22日 10:00～12:00	「外国人を取り巻く状況とよなか国際交流協会の取り組み」	山根絵美 (とよなか国際交流協会事務局事業主任)	76
	10月22日 13:30～15:30	「地域日本語教室における協働～ともに対話を積み上げ、ともに市民性を育てる～」	名嶋義直さん (琉球大学 教授)	
第2回	10月29日 10:00～12:00	「異文化適応におけるメンタルヘルス～“雨中人”から～」	吉 沅洪さん (立命館大学 教授)	85
	10月29日 13:30～15:30	「はじめよう! 日本語交流活動～各活動の紹介～」	山野上隆史 (とよなか国際交流協会事務局) & 日本語交流活動ボランティアの皆さん	
合 計				161

◆日本語ボランティアフォローアップ研修 (対面での開催)

実施日	テーマ	講師	参加者数 (人)
2月4日 10:00～12:30	「日本語交流で使えるイラストの描き方と使い方」	児島弥生さん (にほんご空間・京都 日本語講師 『きいて まねして はなして』のイラスト担当)	22

◆多文化子育て支援ボランティア養成講座

2021年度に引き続き、2022年度もオンラインで開催した。

	実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
第1回	5月10日(火) 10:00~12:00	とよなか国際交流協会/『おやこでにほんご』・『多文化子ども保育にこにこ』の活動紹介と外国人ママのお話	おやこでにほんごボランティア、協会職員	17
第2回	5月17日(火) 10:00~12:00	『性の多様性から「じぶん」について考える』～誰もが排除されない社会をめざして 子どもたちとの出会いからみえてきたこと～	田中一步さん・近藤孝子さん (にじいろi-Ru)	13
第3回	5月24日(火) 10:00~12:00	「外国人の母親に対する子育て支援～地域の現状と豊中の取組みからみえること～」	山中早苗さん(頌栄短期大学)	12
合計				42

◆哲学カフェ in とよなか国際交流センター

これまで、参加者みんなで問い、意見を出し合う場として「哲学カフェ in とよなか国際交流センター」を一般向けに実施してきた。

昨年度、一昨年度の哲学カフェはコロナ禍のため、オンラインで開催した。コロナ禍であっても、マスクを着けずに参加できる貴重な対話の場として実施できた半面、対面で実施してきた「哲学カフェ」の環境がオンラインでは実現しにくいという状況も生まれた。

そのため、本年度は対面開催を前提としたが、年度当初の感染状況も鑑み、一般への募集は行わずに、事業を運営するボランティアへの研修の一環として実施した。

実施日	テーマ	講師	参加者数(人) (うち外国人)
2月28日	哲学カフェ	鈴木径一郎(大阪大学社会技術共創研究センター特任助教)	ボランティア4(2) 職員1(0)
合計			5(2)

◆まるわかりセミナー

広く市民に対して多文化共生について知ってもらうための講座を開催した。2022年度は、現在の豊中市の外国人の状況・課題について、2021年度に行った「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究」の内容を基に紹介した。セミナーはオンラインで行った。

実施日	テーマ	講師	参加者数(人) (うち外国人)
12月11日	聴いてなっとク!まるわかりセミナー ～調査から見える外国人へのコロナの影響編	山野上隆史 (とよなか国際交流協会職員)	15(1)
合計			15(1)

(5) 子ども国際事業

① おまつり地球一周クラブ

地域に暮らす外国人が講師となり、国際理解講座や遊び等の体験を通じて国際感覚を持った子どもたちを育成し、豊かな地域社会を構築することを目的として実施した。また、外国人講師にとっては持っている力を発揮する機会になった。講師と打ち合わせを重ねて、子どもたちがなるべく密を避けながら、楽しく体験できるプログラムを企画・実施した。2022年度は3回連続講座『チョア チョア コリア』も開催した。

	実施日	テーマ	参加者数 (人) (うち外国人) ※子ども
第1回	7月23日	ブラジルをしよう	11 (4) ※子ども 4
第2回	8月28日	おでかけ一周クラブ@庄内公民館～韓国をしよう～*	13 (1) ※子ども 3
第3回	9月23日	インドネシアをしよう	20 (5) ※子ども 10
第4回	10月29日	タイをしよう	13 (6) ※子ども 5
第5回	11月27日	おでかけ一周クラブ@庄内公民館～中国をしよう～*	15 (6) ※子ども 5
第6回	1月21日	チョア チョア コリア①	23 (9) ※子ども 11
第7回	2月25日	チョア チョア コリア②	20 (9) ※子ども 10
第8回	3月4日	チョア チョア コリア③	15 (7) ※子ども 7
合計			130 (47) ※子ども 55

*…「みんなで学校ごっこ」の中の1プログラムとして実施。「庄内はてんこもり」企画委員会によるプログラム。

② 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、毎月第3土曜日に集まり、民族講師（ソンセンニム）から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち（チング）とのつながりを深める場を設けた。市内小中学校の先生方による「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」実行委員会を中心となり、「つどい」の運営を進めている。場所はとよなか国際交流センター。

民族講師（ソンセンニム）：金 仁淑、高 美和

	実施日	内 容	参加者数 (人) (うち外国人)	教員・大人 (人) (うち外国人)
—	4月17日	実行委員会ミーティング	—	10 (3)
第1回	5月21日	開校式、名札・自己紹介カードづくり等	5 (5)	18 (6)
第2回	6月25日	端午の話、うちわ作り、カルタあそび等	5 (5)	21 (8)
第3回	9月17日	チュソクについてなど	9 (9)	22 (7)
第4回	10月15日	ハングルの日の話、工作、楽器体験など	5 (5)	18 (9)
第5回	11月19日	フィールドワーク「朝鮮寺(宝教寺)に行こう」	9 (9)	18 (9)
第6回	12月17日	多文化フェスティバルに参加しよう	12 (12)	20 (8)
第7回	1月28日	お正月あそび、ウリナラの料理を食べよう	6 (6)	14 (6)
第8回	2月18日	カルタ大会、文集づくりなど	6 (6)	16 (6)
第9回	3月18日	工作、ユンノリあそび、閉校式など	6 (6)	10 (5)
小 計			63 (63)	167 (67)
合 計			230 (130)	

◆ハギハッキョ（夏期学校）

日程	名前	場所	参加者数 (人)
7月27日、28日	ハギハッキョキャンプ	わっぱる	6
8月2日、3日	第43回ハギハッキョ（夏期学校）	豊中市立克明小学校	13
合 計			19

2. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

(1) おとなサポート事業

① 相談サービス

生活相談・外国人女性専用電話相談 毎週月～土曜日 11:00～16:00		相談件数(臨時通訳除く) 計 : 2,456件
相談員		吉嶋かおり(金)、ラボルテ雅樹(木)、職員(月・火・土)
コーディネーター		ジャ・チン(月・木・金・土)
多言語スタッフ	中国語	ジャ(月・木・金・土)
	韓国・朝鮮語	ジェイ(金・土)
	フィリピン語/英語	マリア(木・土)、ジャスミン(金)
	タイ語	ブレーン(木・金)
	ベトナム語	トゥエット(木・金)
	スペイン語	(テレサ:事前予約制)
	インドネシア語/英語	アナンダ(木・金)
	ネパール語	パティ(木・金)
臨時通訳		臨時通訳件数:22件

※ 上記以外の多言語スタッフ以外に、電話通訳登録者などに臨時通訳を依頼

[相談体制]

2020年度より法務省「外国人受入環境整備交付金」による多文化共生総合相談ワンストップセンターを豊中市が受託したことにより、相談員の増員、多言語スタッフの対応曜日を追加するなどして、体制強化を行っている。2022年度も引き続き、研修などを実施して対応能力の向上を図ることで体制の強化を図った。

[相談者の内訳(概要)について]

▽全体の相談件数

2022年度の相談件数は2,456件。2021年度は3,376件で、専門相談員と多言語スタッフが常駐する相談日を増設した2020年度は1,848件であった。それ以前の相談件数は、2019年度は952件、2018年度が1,001件であった。2020年度に体制を強化したことで大きく相談件数が増えている。

2022年度が2021年度と比較して、相談件数が減少したのは新型コロナウイルスを含めた「医療・保健」(以下、相談項目を「」で記載)ならびに「生活」の支援施策手続に関する相談件数が減少したことによる影響がある。一方で「日常生活」や「夫婦」「労働」に関する相談件数は例年と同水準となっている。また、全体での相談件数が減少しているにも関わらず「子ども」の相談件数は増加している。

▽相談者の国籍

ネパール国籍の相談者が29.5%(前年度17%)と増加が著しい(参考として2018年度は8.7%であった)。続いて、フィリピン18.1%(前年度28.4%)、中国11.9%(前年度14.6%)、日本国籍で親が外国籍など、外国にルーツをもつ相談者を中心に9.1%(前年度4.4%)、韓国8.1%(前年度9.7%)、ベトナム4%(前年度6.3%)となっている。なお、日本国籍の相談者の総計は166(前年度108)件で、そのうち使用言語が日本語以外の相談は80(前年度41)件、外国籍で日本語の相談を行ったのは642(前年度712)件であり、46か国(前年度39か国)から相談があった。

<特徴的な傾向①>

相談者の国籍についてみると、ネパールが相談件数の29.5%(前年度17%)となり、顕著な増加を示している。その相談内容は「生活」が最も多く、全体の3分の1を占めている。さらに件数が多い順に「医療・保健」「子ども」「日常生活」と続くが、これらの計で半数に達する。なお、「生活」に関する相談の細かい内訳をみると、「行政手続きその他(健保年金、税金以外のもの)」が半数近くを占めており、「生活困窮」「行政手続き(健保・年金)」が続く。

<特徴的な傾向②>

日本国籍であるが外国にルーツを持つ者の相談も全体の9.1%（前年度4.4%）を占めている。年齢別に見ると、10代未満を含めた10代が26.5%、20代が38%であり、若年層で過半数を占めている。相談内容の内訳は件数が多い順に「学校」「行政手続」「生活困窮」と続く。

※ フィリピン、中国、ベトナム国籍者からの相談は、全体に占める割合は相対的に減少しているものの、件数は引き続き多い。

▽相談者の在留資格

身分又は地位による在留資格の合計は27.9%（前年度36.1%）。内訳として、配偶者7.9%（前年度11.6%）、定住者5.7%（前年度9.7%）、永住者14.3%（前年度14.5%）。活動に基づく在留資格は家族滞在23%（前年度16.3%）、技能11.2%（前年度5.3%）などとなっている。すでに述べたように、身分系の在留資格の減少に比例して、活動系の在留資格である家族滞在ならびに技能の在留資格が増加している。

<特徴的な傾向③>

相談全体の内訳を在留資格別にみると、永住者・配偶者・定住者で計27.9%（前年度36.1%）、家族滞在が23%（前年度16.3%）、技能が11.2%（前年度5.3%）。身分に基づく在留資格からの相談件数が減少している一方で、活動に基づく在留資格である家族滞在ならびに技能からの相談件数が増加している。活動に基づく在留資格からの相談についてみると、ネパール国籍の相談者の割合が高い。なお、ネパール国籍からの相談の詳細を見ると、82%を在留資格「家族滞在」と「技能」が占め、女性と子どもが家族滞在、男性が技能という家族構成が多い。在留資格「家族滞在」をめぐる課題として、家族から離れて自立することの困難、在留資格「技能」をめぐる課題として、同一職種以外を選ぶことができない困難が挙げられる。

[相談内容と件数]

大項目	内容別件数 (全体に占める割合)	前年度比 (前年度の件数)	小項目 <カッコ内は全体に占める割合 (%) >
夫婦関係	211 (8.6%)	95.4% (前年度221件)	結婚(0.4)、離婚(2.8)、親権・養育費(0.8)、DV(2)、不和・不満(1.2)、無断離婚(0.9)、夫婦その他(0.5)
手続き	221 (9.0%)	102.3% (前年度216件)	在留資格など(5.6)、家族呼び寄せ(1.7)、養子(0.1)、日本国籍取得・帰化(0.4)、その他(1.2)
生活	417 (17%)	50.7% (前年度822件)	健保・年金(3.1)、税金(1.6)、その他行政手続(5.8)、交通(0.5)、生活困窮(4.8)、防災・災害(0.1)、通訳翻訳(0.7)、生活その他(0.4)
医療保健	294 (11.9%)	40.0% (前年度735件)	メンタルヘルス(2.3)、医療(7.5)、母子保健(1.8)、その他(0.3)
人間関係	108 (4.4%)	70.6% (前年度153件)	友人(0.7)、地域(0.8)、職場(0.7)、家庭(1.7)、その他(0.5)
労働	209 (8.5%)	104.0% (前年度201件)	求職(4.2)、給料未払(0.4)、失業・退職(0.9)、労災(0.2)、就労定着上の問題(1.5)、その他(1.3)
子ども	454 (18.4%)	128.6% (前年度353件)	子育て(2.3)、保育所・幼稚園(2.2)、学校(10.6)、その他(3.3)
日常生活	486 (19.8%)	92.9% (前年度523件)	住居(2.9)、金銭問題(1.1)、日常生活(7.2)、日本語学習(7.3)、その他(1.3)
その他	56 (2.4%)	57.7% (前年度97件)	人権侵害(1.1)、その他(1.3)

※1つの相談が複数のテーマにまたがることもあるため、内容別件数全体は相談件数全体より大きくなる。

◆機関連携

他機関からの問い合わせ、他機関で受けた相談案件への支援、当協会で受けた相談案件に対する他機関からの協力など、他機関との連携による相談は212件だった。機関連携で多いのは、法的対応にかかる弁護士との連携、経済的困窮者（生活保護受給者含む）の家庭や生活上等の問題、就労支援、労働問題、DV被害者への対応、子どもの学校生活における問題等であった。

豊中市	人権政策課、保健センター、こども相談課、教育委員会、幼稚園、小・中学校、福祉事務所、地域就労支援センター（くらし支援課）、地域包括支援センター、他
豊中市以外の自治体・学校	福祉事務所・生活支援部局、DV担当、保健センター、府・他市教育委員会、公立学校、他
公的支援機関	社会福祉協議会、母子福祉支援施設、公営住宅、他市国際交流センター
その他支援機関	在住外国人支援団体、人権擁護団体
その他	弁護士、病院、警察、企業・事業所、協会事業ボランティア、議員

◆スタッフ研修（内部・外部）

相談事業スタッフの研修を行い、相談員としての基本的な知識・スキルを学び、資質向上を図った。

実施日	テーマ	講師等	参加者数（人） （うち外国人）
4月 8日	多言語スタッフ研修会	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	14（8）
6月 17日	グループスーパービジョン	山中京子さん（コラボレーション実践研究所長）	15（13）
2月 10日	グループスーパービジョン	山中京子さん（コラボレーション実践研究所長）	15（13）
1月 20日	多言語スタッフ研修会	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	10（8）
3月 3日	多言語スタッフ研修会	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	9（8）
2月 2日	NATS 多文化共生担当者研修「解決困難な在留資格相談対応研修会」	主催：尼崎市	2（1）
合 計			65（51）

◆外国人のためのセミナー／一日相談会／交流事業

相談事業に寄せられる相談から課題を抽出し、その内容を取り上げるセミナーを行い、広く情報提供を図った。また、課題対応として、豊中市等と協働で一日相談会を開催したほか、外国人同士が交流できる機会を創出した。

実施日	テーマ	講師等	参加者数（人） （うち外国人）
7月 26日、 28日	外国人ママ向けの日本の生活についてのセミナー&交流会（とよなか男女共同参画推進財団との共催事業）	とよなか男女共同参画推進財団（すてっぷ）職員	27（17）
8月 20日	子どものための1日韓国語講座	朴貞淑（韓国語スタッフ）	3（3）
11月 12日	フィリピン人シングルマザー交流会 @庄内和居輪居		9（8）
12月 17日	韓国コミュニティ交流会		6（6）
1月 20日	外国人保護者のための入園説明会	講師：子育て支援センターほっぺ職員	18（18）
3月 21日	臨時相談会@しょうないコラボセンター		6（5）
合 計			69（57）

◆同行支援

機関連携により相談対応を行う際、必要に応じてスタッフが同行サポートを行う。

同行先	回数 (回)	同行先	回数 (回)
豊中市関係施設	8	家庭訪問	4
裁判所	1	年金事務所	2
法律事務所	1	豊中市関係施設	8
大阪府教育庁	6	家庭訪問	4
府立高校	3	その他	3
合 計			40

◆豊中市社会福祉協議会との連携

実施日	内 容
4月 1日～ ※ 前年度より継続	日赤豊中市地区事務局（豊中市社会福祉協議会内）「ウクライナ人道危機救援金」募金への協力、「トルコ・シリア地震」募金への協力（2023年2月9日～）
8月 4日	地域共生推進プロジェクト実行委員会への出席
10月 7日	三田市社会福祉協議会、三田市国際交流協会の受け入れ
10月 19日	地域共生推進プロジェクト実行委員会 外国人支援と福祉の連携プロジェクト委員会への出席
11月 12日	フィリピン人シングルマザー交流会@庄内和居輪居
11月 22日	小地域福祉ネットワーク・地域共生推進委員会への出席
12月 9日	外国人技能実習生と地域住民交流のフットサルへの参加
1月 26日	豊中市社会福祉協議会 地域福祉活動計画推進委員会への出席
2月 1日	地域共生推進プロジェクト実行委員会への出席

※ 上記以外に随時、連携して個別ケース対応や、通訳派遣を実施。また、生活困窮者向けの食糧品配布など実施。

◆明日の地域福祉を考える市民のつどいへの参加

豊中市が地域福祉活動の更なる推進のため、これからの地域コミュニティについて市民と一緒に考える機会として開催した「あすの地域福祉を考える市民のつどい」に職員とボランティアが参加した。『地域のみんなが地域活動できる仕組みってなんだろう』をテーマに市民や市職員らと共にグループワークを重ね、グループによる発表を行った。また、当日の様子や事後インタビューは豊中市公式YouTube”とよなかチャンネル”にて公開されている。

<グループワーク> ※職員参加回のみ記載

実施日	内 容	場 所	参加者数 (人) (うち外国人)
2022年 10月 19日	グループワーク①	地域共生センター	1 (0)
11月 27日	グループワーク②	地域共生センター	1 (0)
12月 8日	グループワーク③	地域共生センター	1 (0)
2023年 1月 12日	グループワーク④	地域共生センター	1 (0)
1月 26日	グループワーク⑤	地域共生センター	1 (0)
2月 15日	事後インタビュー	地域共生センター	1 (0)
合 計			6 (0)

<発表>

実施日	テ ー マ	場 所	登壇者数 (うち外国人)
2月 19日	地域のみんなが地域活動できる仕組みってなんだろう	地域共生センター	3 (2)
合 計			3 (2)

◆リコン・アラート（協議離婚問題研究会）の運営

協議離婚制度の手続きの簡便さを背景に、日本人配偶者である夫から勝手に離婚届を出されるという相談ケースが続いたことを踏まえ、関西の外国人支援団体、法学者、弁護士と共に「協議離婚問題研究会（リコン・アラート）」というネットワークを立ち上げ（2014年度）、調査や啓発活動を行っている（当協会が代表事務所）。

2017年度に研究会のウェブサイト及びFacebook ページ（12言語）を立ち上げ、同年に作成した啓発動画&パンフレットを掲載しているが、2022年度も引き続き、周知広報活動を行い、相談対応を行った。また、2月には大阪弁護士会と共に一日離婚電話相談会を開催した。

実施日	内容	参加者数（人） （うち外国人）
2月25日（土） 10時半～16時半	外国人のための一日離婚電話相談会（相談件数25件）	22(11)
合計		22(11)

[リコン・アラート構成メンバー]

二宮周平さん（立命館大学）、大谷美紀子さん（弁護士、外国人ローヤリングネットワーク代表）、芝池俊輝さん（弁護士、外国人ローヤリングネットワーク）、外国人労働者とその家族の権利を守る関西ネットワーク（RINK）、NGO神戸外国人救援ネット、いくの学園、京都YWCA・APT、アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）、公益財団法人箕面市国際交流協会、カトリック大阪大司教区社会活動センターシナピス、公益財団法人大阪府国際交流財団（OFIX）
URL : <http://atoms9.wixsite.com/rikon-alert>

◆DV 啓発コーナーの設置運営

センター内にDV相談の周知のために情報コーナーを設置し、多言語（9言語）で情報提供している。

◆「日本語支援グループ・むすびめ」との協働事業 <日本語能力検定試験サポート>

2009年度～2010年度文化庁委託事業「多文化共生社会の基盤をつくるための“むすびめ”を生み出す日本語コーディネーター研修(むすびめ事業)」で研修を受けたボランティアが中心となり、2011年度に「日本語支援グループ・むすびめ」が結成され、月曜日のにはほんご活動事業「もっとももっとつかえるにほんご」の立ち上げ・初期の運営及び外国人への具体的な仕事や資格につながる支援事業(主に日本語を切り口とした)を協会と共催してきた。

2022年度も2011年から引き続き、就労のための資格取得サポートの一環として、日本語能力検定試験に向けたパーソナルサポートを行った。毎週火曜日の開催(状況によっては他の曜日でも対応)とし、試験日の3か月前から実施した。2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、対面からオンラインに切り替えて実施した時期(主に8月と9月)もあったものの、昨年度と比べると、対面での活動は中心となって実施された。昨年度より、サポート回数は9回増え、時間数は114時間増えた。サポートを受けた学習者は4人増えた。

	期間	内容	回数	時間数	登録者数
前期	4～6月	日本語能力試験のためのボランティアによる個別指導	22回（うち対面21回、オンライン1回）	189.5時間	10（うち外国人7、ボランティア3）
後期	9～11月	日本語能力試験のためのボランティアによる個別指導	14回（うち対面10回、オンライン3回、対面&オンライン1回）	82時間	7（うち外国人4、ボランティア3）
合計			36回（うち対面31回、オンライン4回、対面&オンライン1回）	271.5時間	17（うち外国人11、ボランティア6）

② コミュニティ活動

◆フィリピン人中老年の居場所作り「Filipino Young at Heart's Club(FYHC)」

2017年度の大阪コミュニティ財団助成事業「外国人高齢者のための居場所作り調査事業」の調査結果を踏まえ、2018年度から、今後急速に高齢化を迎えるであろうフィリピン人向けの居場所作りを実施している。(フィリピン人の多言語スタッフが中心となってコーディネートしている。)

例年、開催頻度は毎月1回、第1日曜日としていたが新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年度に引き続き、定期的な対面活動は実施が困難だった。一方で、昨年度は開催されなかったイベント(豊中まつり)への参加や、おでかけイベントなど、外での活動を積極的に実施することができた。また、ダンス・Zumbaの練習なども少しずつ再開できた。クリスマス会では、昨年度好評で、今年度もニーズがあった年金についてセミナーを実施した。

実施日	内容	場所	参加人数(人) (うち外国人)
4月 3日(日)	桜クルーズ	大川・天満橋	19 (18)
7月 3日(日)	ダンスの練習	とよなか国際交流センター	2 (2)
8月 7日(日)	午前:盆ダンスの練習 午後:盆ダンスの発表 (講師:年岡真由美さん)	とよなか国際交流センター 豊島公園(豊中まつり「市民ふれあい広場」)	35 (31)
12月 10日(土)	クリスマス会 ※クリスマス会内で年金セミナーを開催(講師:福一由紀さん)	とよなか国際交流センター	44 (40)
2月 18日(土)	コロナフレイル予防(Zumba) 講師:とよなか健康出張セミナー	とよなか国際交流センター	8 (8) ※うちオンライン参加4(4)
3月 4日(土)	Zumbaの練習		6 (6)
合 計			114 (105)

③ 防災事業

2016年度に締結した「災害時多言語支援センター設置に関する協定書」(豊中市)に基づき、2020年2月3日に災害時多言語支援センターを設置し、引き続き、多言語情報発信及び相談業務に当たった。また、台風等の情報に関しても適宜提供するなどし、外国人が地域で安全に過ごせるように取り組んだ。

また、外国人のための防災セミナーを2回開催(講師:大阪大学 塚本俊也特任教授)した他、豊中市と共催による防災市民講座、消防局との協力による南部日本語での防災講座などを開催した。その他、総務省主催の研修への参加のほか、大阪府国際交流財団が主催する会議などに参加した。

実施日	内容	場所	参加者数(人) (うち外国人)
9月 30日	外国人のための防災セミナー①	とよなか国際交流センター	20 (20)
1月 21日	外国人のための防災セミナー②	千里公民館	25 (25)
2月 9日	エトレ豊中消防訓練(※多言語スタッフと参加)	エトレ豊中	14 (6)
2月 12日	令和4年度 防災市民講座(豊中市との共催)	とよなか国際交流センター	50 (0)
3月 2日 ~3日	災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修	自治大学校	1 (0)
3月 5日	南部日本語 防災研修(協力:豊中市消防局 予防課)	庄内コラボ	35 (24)
3月 7日	災害時多言語情報支援センター意見交換会 (主催:大阪府国際交流財団)	オンライン	6 (1)
3月 14日	事業者への情報提供(社会福祉法人甲友会)	ロココ豊中	4 (0)
3月 18日	事業者への情報提供(社会福祉法人幸和会)	オンライン	4 (0)
合 計			159 (76)

(2) 子どもサポート事業

① 多文化子ども保育 “にこにこ”

地域に暮らす就学前の外国人の子どもたちが、読み聞かせや自由遊びなどの保育を通して、多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションを取ることで社会生活に慣れるための場づくりを行っている。保護者にとっては子どもと離れて日本語交流活動へ参加したり、自分の時間を持ったりできる場になっている。また、保育の専門知識を持つボランティアへの子育て相談や、幼稚園・保育所のことなど地域の情報を得ることができる場にもなっている。2022年度は参加者やボランティアにとって安心安全に活動ができるように気を付けながら、昨年度以上の回数を実施することができた。

実施曜日	時間	回数	ボランティア登録者数(人)	参加者数(人) (うち外国人の子ども、ボランティア)
木曜日	13:00～15:20	28回	4	144 (うち外国人の子ども 77、ボランティア 67)
金曜日	10:30～12:00	28回	3	95 (うち外国人の子ども 42、ボランティア 53)
			合計	239 (うち外国人の子ども 119、ボランティア 120)

② 子ども母語教室

外国にルーツを持つ子どもが母語や文化を学ぶことを通じて仲間と出会う場づくりを目的に母語教室を月に2回開催した。母語のスタッフは外国にルーツを持つ大学生で、子どもにとってピア(同じ経験をした仲間)サポーターであると同時に、ロールモデルとしての役割を果たした。

2022年度は2020年度より休講していたスペイン語母語教室を再開し、中国語とスペイン語のクラスを開催した。新型コロナの影響を大きく受けた2020年度、2021年度に比べて安定して対面での活動を行うことができ、ルーツの国の遊びや料理など、多様な形でルーツの文化に触れる機会を作ることができた。こういった体験型活動の充実により参加者間の交流が深まり、参加者の定着につながったと考えられる。

クラス	実施曜日	時間	回数	参加者数(人) (うち外国人の子ども、ボランティア)
中国語	第2、4日曜日	10:00～12:00	21回	81 (81) (うち外国人の子ども 35、ボランティア 46)
スペイン語	第2、4日曜日	10:00～12:00	21回	71 (71) (うち外国人の子ども 32、ボランティア 39)
			合計	152 (152) (うち外国人の子ども 67、ボランティア 85)

<ボランティア研修> ※学習支援・サンプレイスと合同で実施。参加者数は子ども母語スタッフのみを記載。

実施日	内容	講師	参加者数(人) (うちボランティア)	
6月5日	多様性を大切にする場づくり	栗本敦子さん (Facilitator's LABO (えふらぼ))	6 (4) (うちボランティア 4)	
3月7日	『性の多様性から「じぶん」について考える』～誰もが排除されない社会をめざして子どもたちとの出会いからみえてきたこと～	田中一步さん・近藤孝子さん (にじいろ i-Ru)	5 (3) (うちボランティア 3)	
			合計	11 (7)

③ 学習支援・サンプレイス

外国にルーツを持つ子ども（小学生～高校生）を対象に、大学生・大学院生ボランティアによる日本語・学習支援を通じた居場所作りを行った。ボランティアの中には外国にルーツを持つ大学生もあり、子どもの抱える悩みやニーズへより細やかで柔軟な対応が可能となった。2022年度も新しいボランティアの参加があり、日本生まれ、育ちの外国にルーツを持つ大学生や留学生のボランティアの割合が増えた。また、ボランティア研修を通して人権や多様性を大切にする場づくりへの理解を深めた。

2022年度はとよなか国際交流センターの空調設備の改修工事のため半年間、通常に比べ狭い空間での活動となったが、地域のバスケットコートを利用するなど活動の幅を広げる機会としたほか、参加者の希望をボランティアがサポートして「多文化フェスティバル」でダンスを披露することが出来た。また、母国で9年間以上の教育を修了して来日し高校受験をする「ダイレクト受験生」への学習支援にも取り組んだ。

<定例>

実施日	時間帯	回数	参加者数（人）（うち外国人）
日曜日 ※第1日曜日を除く	13:00～15:00	39	432 (301) (うち外国人の子ども178、ボランティア254 [うち外国人123])
合 計			432 (301)

<その他イベント>

実施日	内容	参加者数（人）（うち外国人）
8月18日	サンプレ・インテンシブ①	5 (3) (うち外国人の子ども1、ボランティア4)
8月21日	サンプレ・インテンシブ②	16 (2) (うち外国人の子ども11、ボランティア5)
合 計		21 (5) (うち外国人の子ども12、ボランティア9)

<ボランティア研修> ※子ども母語と合同で実施。参加者数はサンプレイスのボランティアのみを記載。

実施日	内 容	講師	参加者数（人）（うち外国人）
6月 5日	多様性を大切にする場づくり	栗本敦子さん (Facilitator's LABO (えふらぼ))	11 (5) (うちボランティア11)
2月 28日*	哲学カフェ	鈴木徑一郎さん (大阪大学 社会技術共創研究センター、特任助教)	5 (2) (うちボランティア5)
3月 7日	『性の多様性から「じぶん」について考える』～誰もが排除されない社会をめざして子どもたちとの出会いからみえてきたこと～	田中一步さん・近藤孝子さん (にじいろ i-Ru)	6 (2) (うちボランティア6)
合 計			22 (9)

*…哲学カフェ in とよなか国際交流センターの再掲

<その他> 子どもの居場所ネットワーク「いこっと」の講座でボランティアがサンプレイスの活動紹介を行った。

実施日	内 容	参加者数（人）（うち外国人）
11月20日	子どもの居場所支援ボランティア講座 第3講	2 (0)
合 計		2 (0)

④ 若者支援

外国にルーツを持つ人の中でもこれまで対象事業の少なかった「若者世代」に対して、2013年度より様々な講座や活動を行ってきた。2016年度からは「若者のたまりば」と「わかもの相談」、日本語学習支援と地域イベントへの参加等を中心にして活動を行った。2020年度までは自主事業（多文化子どもエンパワメント事業）として助成金を得て実施していたが、2021年度より指定管理事業となり子どもサポート事業の一部として実施した。

若者事業の開始より10年目となる2022年度はこれまでの活動をふりかえり、成果と課題を整理して今後の事業をデザインし、新たな形での活動を開始した。

[1] 外国にルーツを持つ若者の居場所事業

外国にルーツを持つ若者の居場所事業「若者のたまりば」では長年活動を担ってきたコーディネーターが引退することから12月以降は活動を縮小して月1回の開催とし、新たな活動を作っていくよう事業の振り返りと事業デザインを行った。定例活動では、参加者が外国にルーツを持つ仲間（ピア）と出会い、相互に交流できるような場づくりとして、料理やボードゲームなどの活動を通じた交流を行い、随時ニーズに応じて進学や就労に向けた日本語の支援も行った。2023年度は新しいコーディネーター2名を迎え、他機関との連携や活動内容の充実を図っていく。

<若者のたまりば> ※対象者は外国にルーツを持つ若者（15～39歳）

実施日時	場所	内容	回数	参加者数（人） （うち外国人）
第1日曜日を除く毎週日曜日 17～20時 ^{*1} 第1土曜日 13～15時 ^{*2}	とよなか国際 交流センター	若者が集まり、料理やボードゲーム等を通じた交流、居場所作りを行った	26回	68（62） （うち若者46）
			合計	68（62） （うち若者46）

*1…2022年4月～11月の間 *2…2022年12月～2023年3月の間

<その他イベント>

実施日	内 容	場所	参加者数（人） （うち外国人）
3月25日	国際交流フェスタに出店	とよなか国際交流センター	6（5）
合計			6（5）

[2] 高校進学のための相談・同行支援

出身国で中学校卒業相当の教育を修了してから来日した若者の高校進学に関する相談対応について、多言語相談サービスと連携しながら、情報提供や大阪府教育庁への同行支援など必要な支援を行った。

2022年度は新型コロナウイルスによる渡航制限が緩和されたため、日本への渡航を待っていた若者が多数来日し高校進学支援（日本語学習、出願書類等作成支援）の件数が8件と過去最多となった。この他に相談を受けて相談者の近隣の支援団体を紹介したケースが10件あった。

<同行支援>

実施日	内 容	場所	参加者数（人） （うち外国人）
7月19日	府立高校入学者選抜試験にかかる事前相談	大阪府教育庁	3（2）
12月16日	府立高校入学者選抜試験にかかる事前相談	大阪府教育庁	2（2）
1月23日	府立高校入学者選抜試験にかかる事前相談	大阪府教育庁	2（2）
2月1日	府立高校入学者選抜試験配慮事項承認書受取	大阪府教育庁	2（2）
合計			9（8）

<その他>

実施日	内 容	場 所	参加職員数 (人)
2月 24日	一般社団法人キャリアブリッジ訪問	青少年交流文化館いぶき	2
合 計			2

◆関係機関等との連携

実施日	内 容	場 所	参加職員 (人)
4月 15日	第1回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	人権平和センター豊中	1
5月 13日	第2回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	地域共生センター	1
6月 3日	第3回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	人権平和センター豊中	1
7月 6日	豊中市子ども・若者支援協議会 実務者合同会議	オンライン (Zoom)	1
7月 8日	第4回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	人権平和センター豊中	1
7月 27日	豊中市子どもを守る地域ネットワーク代表者実務者会議	オンライン (Zoom)	1
8月 21日	いこっと意見交流会「学びの機会確保について」	中央公民館	1
9月 28日	子どもの居場所ネットワーク「いこっと」 克明・桜塚・南桜塚圏域交流会	フリースペースるうぷ	1
11月 4日	第5回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	人権平和センター豊中	1
11月 14日	豊中市子ども・若者支援協議会オンラインシンポジウム	オンライン (Zoom)	1
11月 30日	子どもの居場所ネットワーク「いこっと」 北丘圏域交流会	アリス千里	1
12月 2日	こどもの相談支援ネットワーク会議 実務担当国会議	すこやかプラザ	1
2月 2日	子どもの居場所ネットワーク「いこっと」 少路・北緑丘圏域交流会	緑丘会館	1
2月 17日	第6回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	とよなか国際交流センター	1
2月 28日	子どもの居場所ネットワーク「いこっと」 豊島西・原田・豊島北圏域交流会	上津島センター	1
合 計			15

◆外国人保護者のための入学準備説明会 (共催：豊中市教育委員会)

日 時	内 容	場 所	参加者数 (人) (うち外国人)
1月 22日 (日) 14:00~15:30	日本の学校についての説明、質疑応答	とよなか国際交流センター	26(26) ※外国人親子10組
合 計			26(26)

◆豊中市子ども読書活動連絡会

「豊中市子ども読書活動推進計画」は「こどもすこやか育みプラン・とよなかへ豊中市子育て・子育て行動計画」の中に組み入れられている。「子ども読書活動連絡会」が立ち上がって以降、協会では、毎年「おやこでにほんご」のボランティアと職員が「障害のある子どもや外国人の子ども」の読書環境を整備するワーキンググループへ参加し、事業実施の協力を行ってきた。現在も、「子ども読書活動連絡会」の委員として、「おやこでにほんご」ボランティアと職員が毎年参加している。「子ども読書活動連絡会」への参加は、「外国人の視点」の地域への浸透や図書館との連携という意味でも大きな意味をもっている。

推進計画にもとづき、外国人の子どもが参加する全ての事業で、活動の中に読書推進の取組を盛り込むことに努めている。センター内の図書コーナーには、外国語絵本コーナーもあり、事業横断的な外国人親子の読書推進活動を行っている。また継続して市立図書館にある外国語図書の蔵書を定期的にセンターに巡回配架する取組を行っており、センター利用者が多言語図書にアクセスしやすい環境づくりを意識している。

[連絡会への参加]

実施日	内容	場所	参加者数(人) (うち外国人)
6月24日	第1回子ども読書活動連絡会	岡町図書館	欠席
11月22日	第2回子ども読書活動連絡会	岡町図書館	1(0)

◆公民協働子育て支援イベント ～ みんなあつまれわくわくランドへの出展(2年ぶりの開催)

日時	場所	内容	その他協力
11月12日(土) 10:00～12:00	すこやかプラザ	とよなか国際交流協会に関するパネル展示	チラシの多言語翻訳

(3) 多文化子どもエンパワメント事業

① 学習日本語「こんばす」

2010年度に始まった「とよなか子ども日本語教室」から日本語指導者グループ「とよなかJSL」が生まれ、2012年度より、とよなか国際交流協会・とよなかJSL・行政の三者協働事業「とよなか子ども日本語教室を拠点とした学習に必要な日本語力・生活力の保障とそのシステム作りのための事業(「こどもにほんごプロジェクト」)」が3か年計画として始まった。2017年度をもって日本語教室の運営を取りやめることになったが、2019年度に教案集出版を記念したシンポジウムを開催したことを契機に、2020年度より新たな子どもの日本語教室となる学習日本語「こんばす」を立ち上げた(運営主体:とよなかJSL 協力:とよなか国際交流協会)。

立ち上げ以来新型コロナの影響でオンラインと対面を切り替えながらの活動であったが、2022年度は対面の活動を継続して行うことが可能となった。来日して日が浅い子ども、日本育ちの子ども、ダイレクト受験生と多様な子どもにニーズに応じた指導を行い、年度末には高校受験を控えた中学生のために土曜日に教科指導を試験的に開始した。

また、教育相談を実施し日本語について気になる子どもの保護者、教員や子ども等から相談を受入れ、必要に応じて「こんばす」の通級につなげたり、学校や自宅での支援についてのアドバイスを行ったりした。

加えて、6月に「子どもに教える日本語講座」を開催し、地域や学校で子どもに日本語を教えている人を対象にこんばすの活動や指導内容を紹介したほか、新規ボランティアを受入れて育成している。

<定例>

実施曜日	時間	回数	参加者数(人) (うち外国人)
火曜日・金曜日	17:00～19:00	94回	1,050(442) (うち子ども442)
合 計			1,050(442) (うち子ども442)

<教科指導>

実施曜日	時間	回数	参加者数(人) (うち外国人)
2月18日、2月25日、 3月4日	14:00～16:30	3回	20(9) (うち子ども9)
合 計			20(9) (うち子ども9人)

<教育相談>

実施曜日	時間	回数	参加者数(人) (うち外国人)
火曜日	16:00～19:00	9件	39(19)
合 計			39(19)

<子どもに教える日本語講座>

実施曜日	時間	講師	参加者数(人) (うち外国人)
6月4日	13:00～16:00	とよなかJSLメンバー 協会職員	30(2)
合 計			30(2)

② てーげーコミュニケーションズ（多文化エンパワメント・メディアプロジェクト）

2016年度、それまでの多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト「てーげー一部」の活動を、映像制作やメディア活動を行う集まり「てーげーコミュニケーションズ」として再編成し、それ以来、継続して活動を行っていたが、昨年度に引き続き、ボランティアスタッフの参加が難しく、新たな活動を展開することはできなかった。このような現状を鑑み、今後の活動について協議した結果、次年度以降は「てーげーコミュニケーションズ」としての活動を事業の一つの柱として実施することは終了することとした。今後、参加ボランティア参加者が増え、活動のニーズがあった場合は、他事業の活動内容の範囲で実施可能かどうか検討する。

③ ネットワーク事業への参加

子どもの夢応援ネットワーク

外国にルーツがあるなど、マイノリティ性を持つ子ども・若者の支援に関わっている団体、個人で作られたネットワーク。2017年7月から活動を開始しており、定期的な情報交換、シンポジウムなどを実施している。

定期的な情報交換会などの開催のほか、在留資格「家族滞在」の子どもが JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）の奨学金を受けられるように文部科学省への働きかけなどを行った。また、大阪府において大阪府外国人施策に関する指針の改定が行われることを受け、提案を行った。

<定期的な情報交換>

開催回数及び開催日	場所
13回 開催日：4月8日、4月21日、5月19日、6月24日、7月16日、8月10日、 8月26日、9月13日、10月14日、11月11日、12月16日、1月13日、 2月24日	キャピタルナレッジ 及びオンライン

<訪問、意見交換等>

実施日	内容	開催場所	参加者数（人） （うち外国人）
8月30日	総務省自治行政局国際室	総務省	5（1）
8月30日	文部科学省高等教育局学生・留学生課	文部科学省	5（1）
8月30日	文化庁文化部国語課	文化庁	6（1）
8月30日	文部科学省総合教育政策局国際教育課	文部科学省	6（1）
8月31日	厚生労働省職業安定局外国人雇用対策課	厚生労働省	4（1）
8月31日	厚生労働省参事官（総合政策統括担当）	厚生労働省	4（1）
9月29日	国立社会保障・人口問題研究所 是川夕さんと打合せ	オンライン	12（2）
合計			42（8）

3. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

(1) 国際教育推進事業

◆豊中市国際教育推進協議会

文部科学省は2005年8月に「初等中等教育における国際教育推進検討委員会」報告書をまとめた。国際関係や異文化を単に理解するのではなく主体的に行動するための態度や能力の基礎を育成する「国際教育」の必要性を唱え、「国際教育推進プラン」を実施する地域を指定した。豊中市もその一つとして、2008年度までの3か年の事業に取り組んだ。それを引き継ぐ形で推進プロジェクト協議会を作り、豊中市でユネスコスクールを設立、韓国の教員との交流などを行った。2010年度より「豊中市国際教育推進協議会」を立ち上げた。同協議会は2019年度に協議会から連絡会となっている。今年度は豊中市教育委員会学校教育課と必要に応じて協議などを行ったものの、連絡会の開催には至らなかった。

≪豊中市国際教育推進連絡会の開催について≫

- ・連絡会の開催0回

◆帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会

帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会が毎年とよなか国際交流センターにおいて多言語による進路相談会を開催している。例年は参加対象を小学校高学年から中学3年生までとしていたが、感染症対策のため2022年度は昨年度に引き続き、中学3年生及び2年生のみを対象としての開催となった。

＜豊能ブロック協議会構成団体＞ 計23団体

大阪府教育庁	大阪府在日外国人教育研究協議会
池田市教育委員会	大阪府立学校在日外国人教育研究協議会
豊中市教育委員会	池田市在日外国人教育研究協議会
箕面市教育委員会	豊中市在日外国人教育推進協議会
能勢町教育委員会	箕面市在日外国人教育研究会
豊能町教育委員会	能勢町在日外国人教育研究協議会
豊能地区進路保障協議会	豊能町在日外国人教育研究協議会
池田市進路保障協議会	豊能地区人権教育研究協議会
豊中市進路保障協議会	(公財) とよなか国際交流協会
箕面市進路保障協議会	(公財) 箕面市国際交流協会
豊能郡進路保障協議会	池田市ダイバーシティセンター
豊能地区在日外国人教育研究協議会	

＜豊能ブロック協議会への参加＞

実施日	内 容	場 所	参加職員数(人)
6月24日	2022年度帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業 第1回豊能ブロック協議会	豊中市教育センター	1
7月5日	第2回豊能ブロック協議会	豊中市教育センター	1
9月20日	第3回豊能ブロック協議会	豊中市教育センター	1
11月18日	第4回豊能ブロック協議会	とよなか国際交流センター	1

＜豊能ブロック 「多言語による進路ガイダンス」＞

実施日	時間	場所	参加者数(人)
10月8日(土)	13:00~16:00	豊中市教育センター	95
	〔13:00~13:45 進路説明会〕 〔13:45~14:30 個別相談会〕		(うち生徒13、保護者14、通訳者12 [7言語]、関係者56)
合 計			95

◆多文化フェスティバル

国際教育の推進を図るため、多文化フェスティバル（帰国児童生徒、在日コリアン児童生徒・渡日外国人児童生徒など、国際に関わる子どもやその保護者、また国際教育に関心のある先生が、一堂に集い、つながり、交流を深める機会）を例年開催し、2022年度で18回目を迎えた（2019年度より国際教育推進協議会が国際教育推進連絡会となり、豊中市教育委員会後援で開催）。

2022年度は昨年度、一昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止の観点より、これまでのように一般参加を広く呼び掛けるものとはせず、豊中市教育委員会が実施している外国にルーツを持つ子どもの関連事業ならびに当協会の主催の外国にルーツを持つ子どもの事業関係者と参加対象者に絞って開催した。当日は、豊中市教育委員会や豊中市外国人教育推進協議会、当協会などが実施する各活動（「子ども日本語教室」、「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」、「子ども母語教室」「学習支援・居場所づくり サンプレイス」など）の紹介、外国人保護者による平和についてのお話、子どもたちによるダンスの発表などをステージで実施した。また、各活動に関わる先生やボランティア、インターン生、外国人保護者によるブースを設け、多様な国・地域のおもちゃや遊び、モノづくりのワークショップなど、子どもたちが多様な人々と関わり合いながら出会う場を提供した。

実施日	時間	場所	参加者数（人）
12月17日（土）	10:30～12:30	とよなか男女共同参画推進センター ・すてっぷホール ・視聴覚室	90（63） （うち子ども44、保護者18、スタッフ・関係者28）
合 計			90（63）

※参加団体

（豊中市教育委員会学校教育課人権教育係、豊中市在日外国人教育推進連絡会、豊中市こども日本語教室、韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい、とよなか国際交流協会、子ども母語教室、学習支援「サンプレイス」、インターンシップ生（大阪大学大学院）、学生ボランティア）

2022年度

公益財団法人とよなか国際交流協会事業体系

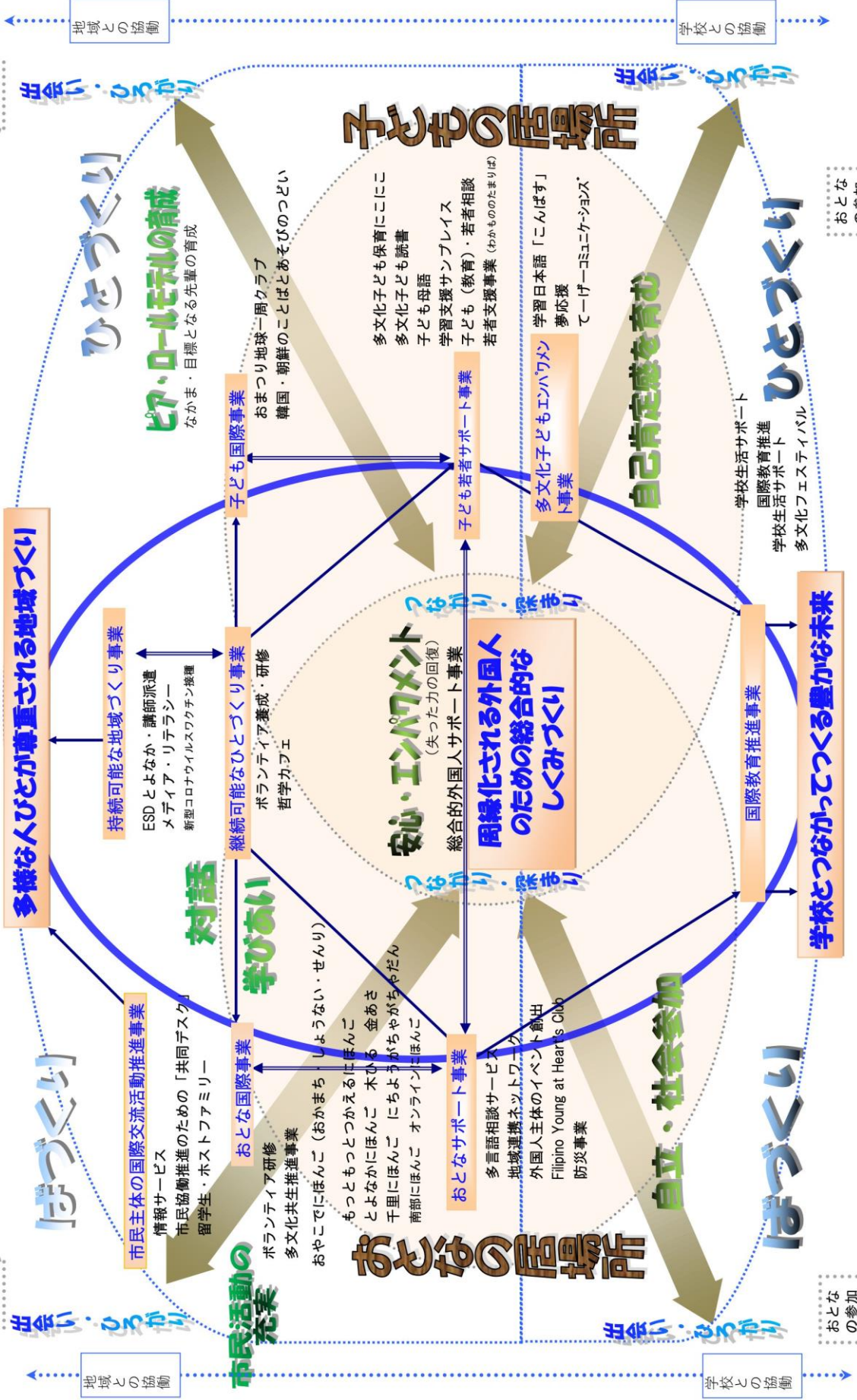
公益目的事業：地域の市民の主体的な参加による、

人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出する事業

〇 は協会最重要課題である
総合的外国人支援事業の
範囲をします。

子どもの参加

おとなの参加



4. 施設管理受託事業

(1) とよなか国際交流センター貸室業務

国際交流目的利用の市民や一般利用者に対して公平・公正、安全に貸室業務を行った。

年間貸室利用者数（人）	10,380	[前年度比 5,705 減]
全利用者のうち外国人の利用者数（人）	3,945	[前年度比 4,747 減]
年間貸室件数（件）	1,413	[前年度比 1,137 減]
国際交流目的での貸室件数（件）	1,225	[全貸室における比率 86.7%]

※ 4/1～11/30の間、空調設備工事により貸室業務停止

※ なお、貸室業務以外の施設利用者の数は13,498人（前年度比2,358人増）、施設全体で23,878人。

◆2022年度(2022年4月～2023年3月)月別・部屋別 使用件数・利用人数

◆受託事業 とよなか国際交流センター指定管理業務(豊中市からの受託)の施設貸出業務について

①2022年度(2022年4月～2023年3月)月別 使用件数・利用人数

	開館日数	件数	人数	
			合計	うち外国人
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	0	0	0	0
8月	0	0	0	0
9月	0	0	0	0
10月	0	0	0	0
11月	0	0	0	0
12月	24	504	2,306	887
1月	24	454	1,949	749
2月	24	492	2,678	1,082
3月	26	550	3,448	1,227
合計	98	2,000	10,381	3,945

4/1～11/30の間、
空調設備工事によ
り貸室業務停止

◆2022年度(2022年4月～2023年3月) 月別・部屋別 使用件数・使用率
 (単位 上段：件、下段：%)

2022度(2022年4月～2023年3月) 月別・部屋別使用件数・使用率														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数									38	37	37	42	154
	使用率									52.8%	51.4%	51.4%	53.8%	52.4%
会議室2A	件数									35	24	33	34	126
	使用率									48.6%	33.3%	45.8%	43.6%	42.9%
会議室2B	件数	※空調設備工事により貸室業務停止								37	24	33	37	131
	使用率									51.4%	33.3%	45.8%	47.4%	44.6%
会議室2C	件数	指定管理事業・協会自主事業及びセンター登録団体への支援としての施設利用・豊中市による施設利用のみ								37	28	34	35	134
	使用率									51.4%	38.9%	47.2%	44.9%	45.6%
会議室3	件数									27	37	39	34	137
	使用率									37.5%	51.4%	54.2%	43.6%	46.6%
会議室4	件数									57	51	53	59	220
	使用率									79.2%	70.8%	73.6%	75.6%	74.8%
会議室5	件数									28	34	30	37	129
	使用率	合計件数：2,396件								38.9%	47.2%	41.7%	47.4%	43.9%
料理室	件数									35	24	27	30	116
	使用率									48.6%	33.3%	37.5%	38.5%	39.5%
音健ルーム	件数									25	21	21	22	89
	使用率									34.7%	29.2%	29.2%	28.2%	30.3%
和室	件数									7	4	4	8	23
	使用率									9.7%	5.6%	5.6%	10.3%	7.8%
プレイルーム1	件数									19	10	13	26	68
	使用率									26.4%	13.9%	18.1%	33.3%	23.1%
プレイルーム2A	件数									8	9	13	16	46
	使用率									11.1%	12.5%	18.1%	20.5%	15.6%
プレイルーム2B	件数									7	7	11	14	39
	使用率									9.7%	9.7%	15.3%	17.9%	13.3%
ギャラリー1	件数									72	72	72	78	294
	使用率									100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ギャラリー	件数									72	72	72	78	294
	使用率									100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
総件数										504	454	492	550	2000
開館日数										24	24	24	26	98
使用率										53.8%	48.5%	52.6%	54.2%	52.3%

◆2022年度(2022年4月～2023年3月)

国際交流目的 月別・部屋別 会議室使用件数・使用率

(単位 上段：件、下段：%)

③2022年度(2022年4月～2023年3月) 国際交流目的 月別・部屋別使用件数・使用率														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数									38	36	35	42	151
	使用率									52.8%	50.0%	48.6%	53.8%	51.4%
会議室2A	件数									31	22	27	31	111
	使用率	※空調設備工事により貸室業務停止								43.1%	30.6%	37.5%	39.7%	37.8%
会議室2B	件数									34	23	30	35	122
	使用率									47.2%	31.9%	41.7%	44.9%	41.5%
会議室2C	件数									33	27	30	32	122
	使用率	指定管理事業・協会自主事業及びセンター登録団体への支援としての施設利用・豊中市による施設利用のみ								45.8%	37.5%	41.7%	41.0%	41.5%
会議室3	件数									27	37	39	34	137
	使用率									37.5%	51.4%	54.2%	43.6%	46.6%
会議室4	件数	合計件数：2,396件								57	51	53	59	220
	使用率									79.2%	70.8%	73.6%	75.6%	74.8%
会議室5	件数									27	31	27	35	120
	使用率									37.5%	43.1%	37.5%	44.9%	40.8%
料理室	件数									36	23	26	29	114
	使用率									50.0%	31.9%	36.1%	37.2%	38.8%
音健ルーム	件数									12	11	10	14	47
	使用率									16.7%	15.3%	13.9%	17.9%	16.0%
和室	件数									3	2	4	7	16
	使用率									4.2%	2.8%	5.6%	9.0%	5.4%
プレイルーム1	件数									17	9	11	24	61
	使用率									23.6%	12.5%	15.3%	30.8%	20.7%
プレイルーム2A	件数									0	0	2	0	2
	使用率									0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.7%
プレイルーム2B	件数									0	0	2	0	2
	使用率									0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.7%
ギャラリー1	件数									72	72	72	78	294
	使用率									100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ギャラリー2	件数									72	72	72	78	294
	使用率									100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
総件数										459	416	440	498	1813
開館日数										24	24	24	26	98
使用率										49.0%	44.4%	47.0%	49.1%	47.4%

◆使用料の収入の状況：とよなか国際交流センター使用料

(令和4年(2022年)7月～令和5年(2023年)3月納付分)

計 497,560円

◆2022年度（2022年4月～2023年3月）安全管理の状況

	①窓の開閉	②パーテーションの開閉事故	③電球取り替え時の事故	④その他の事故	事故があった場合の 日時・状況・内容等
4月	無	無	無	無	
5月	無	無	無	無	
6月	無	無	無	無	
7月	無	無	無	無	
8月	無	無	無	無	
9月	無	無	無	無	
10月	無	無	無	無	
11月	無	無	無	無	
12月	無	無	無	無	
1月	無	無	無	無	
2月	無	無	無	無	
3月	無	無	無	無	

(2) 視察、学生受入れ等

◆視察受入れ

	日時	受入れ	参加者数(人) (うち外国人)
1	2022年 6月 3日	埼玉大学教育学部 磯田准教授	1 (0)
2	8月 5日	NPO 法人場とつながりの研究センター	4 (1)
3	9月 2日	三田市社会福祉協議会・三田市国際交流協会・PHD 協会	18 (0)
4	11月 18日	豊中市立克明小学校 4年生	9 (0)
5	12月 2日	NEC ネットエスアイ	2 (0)
6	12月 3日	とよなか地域創成塾	3 (0)
7	12月 9日	韓国・済州島西帰浦市女性家族課	9 (9)
8	12月 12日	大阪府立豊中高等学校	6 (0)
9	12月 15日	大阪大学人間科学部 2回生	10 (0)
10	2023年 1月 12日	大阪大学大学院生人文学研究科受講生	3 (2)
11	1月 24日	克明小学校 4年生	67 (3)
12	3月 20日	the Commission on Filipinos Overseas (CFO) (フィリピン政府在外フィリピン人委員会)	8 (7)
合 計			140 (22)

◆学生受入れ (インターン)

2022年度は、2校よりインターンの希望があり、2名のインターンを受入れた。

学校名	受入数(人) (うち外国人)	時間
大阪大学大学院	2 (0)	80時間
関西学院大学	1 (1)	90時間
合 計	3 (1)	170時間

◆学生受け入れ (大阪大学未来共生プログラム「公共サービス・ラーニング」)

大阪大学が実施する、履修生が学校、病院、自治体などの現場で実践家の人々とともに実際に様々な活動に従事して、多文化共生社会における実践的な能力を学ぶことを目的としたプログラムで、今年度は学生1名を受け入れた。(受け入れ期間：2022年10月～2023年3月、実施回数15回)

◆職場体験学習 CUL (カル)

教育委員会に受け入れ希望の回答をしていたが、職場体験学習の実施期間と工事期間中とが重なったことで希望する学校がなく、今年度の実施はなかった。

(3) ATOMS ふりかえり会 (事業評価会)

◆ATOMS ふりかえり会 (事業評価会)

市民参加型の事業評価会を3月11日に対面にて開催し、ボランティアや職員が2022年度の成果や課題について発表した(参加者50人)。

日時	内容	場所	参加者(うち外国人)
3月11日(土) 10:00~12:00	協会の全事業について、参加者や担当職員が振り返った内容について共有。なお、振り返りの視点(以下の4つ)は全事業共通。 ①双方向性 ②ボトムアップ ③居場所 ④エンパワメント	とよなか国際交流センター	50(10)
合計			50(10)

(4) 会議等への参加・協力、他機関との意見交換・情報収集(事業評価会)

◆その他会議等の参加・協力

豊中市関係会議(21団体)

克明小学校区連絡会	大池小学校区連絡会	豊中市こども若者自立支援部会
とよなか市民環境会議	識字・日本語豊中連絡会	地域福祉ネットワーク会議
豊中市地域就労支援センター	豊中こどもの居場所ネットワーク	豊中市子ども・若者支援協議会
豊中市国際教育推進連絡会	豊中市こども施策推進本部連絡会議	豊中市こども相談支援ネットワーク会議
豊中市防災会議	豊中市在日外国人教育推進担当者会議	豊中市DV防止ネットワーク会議
豊中市教職員組合	豊中市外国人市民会議	豊中市子ども読書活動連絡会
豊中市保健師会	豊中市地域福祉活動計画推進委員会	豊中市障害者差別解消支援地域協議会

その他(19団体)(順不同)

(社福)みらい福祉会	国際交流協会ネットワーク会議おおさか	大阪府自治体国際化推進連絡会議
豊中青年会議所	豊中南ライオンズクラブ	大阪府行政相談窓口ネットワーク会議
大阪大学未来戦略機構	豊中まつり実行委員会	世界人権宣言豊中連絡会議
多文化社会専門職機構	ダイバーシティ研究所	大阪弁護士会
「ひと・まち・であい 夏まつり」実行委員会	大阪府人権協会	国際交流の会とよなか(TIFA)
豊中南ロータリークラブ	近畿税理士会	大阪出入国在留管理局
大阪府教育庁		

◆訪問等による情報収集・意見交換

一般財団法人自治体国際化協会	総務省自治行政局国際室	文部科学省総合教育政策局国際教育課
文部科学省高等教育局学生・留学生課	文化庁文化国際課	厚生労働省職業安定局外国人雇用対策課
大阪府政策企画部企画推進課	大阪府スマートシティ戦略部特区推進課	大阪府商工労働部商工労働総務課
大阪府商工労働部雇用推進室労働環境課	大阪府商工労働部雇用推進室就業促進課	

(5) 職員研修、その他

◆職員研修

事務局職員の業務推進能力・資質の向上をはかるため、以下研修・勉強会に参加（もしくは主催）した。（協会主催の研修会は㊦印で太字／自己啓発支援については㊧印で太字）21回

実施日	内容（主催）
4月26日	新入職員向けサービスマナー研修（大阪府社会福祉協議会主催）
5月31日、30日	初級職員向けサービスマナー研修（大阪府社会福祉協議会）
6月6日～8日	令和4年度自治体外国人施策の実務～第一線で対応する方のために～
6月11日	ボランティアコーディネートを学ぶ2～ボランティア受け入れのマネジメント（日本ボランティアコーディネーター協会／富士通ラーニングメディア）
6月11日	移住連全国ワークショップ2022（移住労働者と連帯する全国ネットワーク）
6月28日、29日	中級職員向けサービスマナー研修（大阪府社会福祉協議会）
6月30日	㊧繊細な子どもHSCの特徴と子育て（ほくせつママの木）
8月1日、4日、18日	対人援助専門職講座（大阪府社会福祉協議会）
8月4日	子どものための心理的応急処置講座（豊中市・公益社団法人セーブ・ザ・チルドレンジャパン）
8月～1月まで計4回	令和四年度発達支援・障害児支援者研修（豊中市）※オンライン
10月6日、27日、 11月25日	外国につながる家族と子どもへの相談支援オンラインセミナー※オンライン
10月31日	多機関連携によるヤングケアラー支援に向けて（豊中市子ども未来部）
11月22日	青少年活動支援スキルアップ講座「みんなちがってみんないい」のうしろにあるものは・・・？（高槻市教育委員会）
11月24日、12月1日 12月22日、1月12日	㊦グループセミナー（講師：アトリエエム 三木啓子さん）
12月1日、15日、 1月12日	多様な人材による職場づくり（とよなか男女共同参画推進財団）
1月20日	外国人労働者受け入れ対応セミナー（大阪府）
1月20日	大阪府ひきこもり支援に携わる人材の養成研修（大阪府）
2月2日	NATS 多文化共生担当者研修「解決困難な在留資格相談対応研修会」（尼崎市主催）
3月2日～3日	災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修（主催：総務省）
3月17日	㊦ちゅらゆいの取り組みから学ぶ～沖縄の社会課題と向き合う（金城隆一さん）
3月26日	多様性と特権～社会的立場の違いを体感しよう（BRIDGE PROJECT）

◆館内ワールドクイズ「シン・ワールドクイズ」

施設壁面を活用した取組。館内随所にクイズ（各国の文化等に関する問題。全15問）を掲示している。事務所で回答用紙を受け取ってクイズラリー形式で回答を全て集めると、オリジナルポストカードを1枚プレゼントする企画として常設している。

豊中市に暮らす外国人の数が多く国から順にクイズで取り上げており、楽しみながら豊中市で暮らす外国人のことを知ったり、様々な館内掲示物に触れたりすることで国際交流、多文化共生に関する理解が深まるように取り組んでいる。

◆子ども服のリサイクルコーナー

地域における子育て支援の一環として、事務所前に子ども服・用品のリサイクルコーナーを常時設置している。不要になった子ども服を持参して自ら陳列してもらい、必要な人は無料で持ち帰ることができるコーナーとして、一般市民、施設利用者から好評を得ている。

なお、同コーナーはとよなか市民環境会議のウェブサイトで「通常の業務活動を通じたSDGsの展開」というタイトル名で取り上げられたほか、豊中市「協働の取組に関する意見交換会」でも事例報告を行った。

IV. 理事会・評議員会開催状況、組織体制

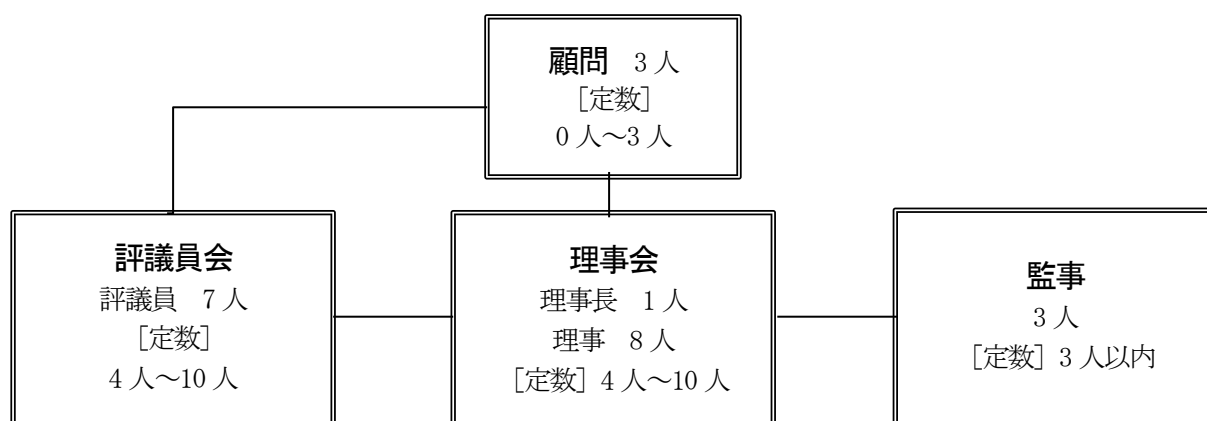
1. 理事会開催状況

開催日時・場所	案件
第1回理事会 2022年 5月27日(木) 18時～ ※オンラインでの開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2021年度事業報告及び計算書類等の承認について 第2号議案 役員について 第3号議案 定時評議員会の実施について <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告
第2回理事会 2022年 6月13日(月) 17時半～ ※オンラインでの開催	第1号議案 代表理事の選出について 第2号議案 常務理事の選出について
第3回理事会 2022年 9月16日(金) 13時～ ※オンラインでの開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2022年度補正予算について 第2号議案 就業規則及び育児・介護休業等に関する規定の変更について 第3号議案 給与表の改定について 第4号議案 謝金支払いに関する規定について 第5号議案 会計規則の改定について 第6号議案 臨時評議員会の開催について <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告
第4回理事会 2022年 12月1日(木) 18時～ ※オンラインでの開催	第1号議案 ハラスメントに関する対応及びその整備について 第2号議案 公益通報者保護制度について 第3号議案 30周年プレ企画について 第4号議案 臨時評議員会の開催について <第1、3号議案について同日可決し、第2号議案について継続審議となった> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告
第5回理事会 2023年 2月28日(火) 18時～ ※オンラインでの開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2023年度事業計画及び予算について 第2号議案 就業規則の変更について 第3号議案 特定費用準備資金について 第4号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて 第5号議案 ハラスメントに関する対応及びその整備について 第6号議案 公益通報者保護制度について 第7号議案 臨時評議員会の開催について <第1～4号、6～7号議案について同日可決し、第5号議案について継続審議となった> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告

2. 評議員会開催状況

開催日時	案件
第1回評議員会 2022年 6月13日(月)15時～ ※オンラインでの開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2021年度事業報告及び計算書類等の承認について 第2号議案 役員について <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況確認
第2回評議員会 2022年 9月26日(月)10時～ ※オンラインでの開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2022年度補正予算について 第2号議案 就業規則及び育児・介護休業等に関する規定の変更について 第3号議案 給与表の改定について 第4号議案 謝金支払いに関する規定について 第5号議案 会計規則の改定について <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況確認
第3回評議員会 2022年 12月19日(月)13時～ ※オンラインでの開催	第1号議案 ハラスメントに関する対応及びその整備について 第2号議案 公益通報者保護制度について 第3号議案 30周年プレ企画について <第1、3号議案について同日可決し、第2号議案について継続審議となった> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告
第4回評議員会 2023年 3月22日(火)10時～ ※オンラインでの開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2023年度事業計画及び予算について 第2号議案 就業規則の変更について 第3号議案 特定費用準備資金について 第4号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて 第5号議案 ハラスメントに関する対応及びその整備について 第6号議案 公益通報者保護制度について <第1～4号について同日可決し、第5～6号議案について継続審議となった> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告

3. 2022年組織体制



山野上隆史(事務局長)、山本愛(事務局次長) <多言語スタッフ>

山根絵美 事業主任(正職員) ジャ チン
 山本房代 事業主任(正職員) 朴貞淑
 安藤綾子 総務主任(正職員) 平松マリア
 大庭みゆき 事業職員(正職員) 海野バティ
 三木幸美 総務職員(正職員) シチ ゴック トウエット
 石田みどり 事業職員(契約職員) ジャスミン リベラ
 三谷あゆ子 総務職員(短時間職員) アナンダ プトリ
 御園美由紀 総務職員(短時間職員) 2022.5.28まで プリーチャーパンヤー・シャヤーポーン
 林陽 事業職員(契約職員)

	事務局長	事務局次長	主任職員	正職員	契約職員	短時間職員	多言語スタッフ	合計
職員数	1人	1人	3人	2人	2人	2人	8人	19人

【役員等名簿】

役職名	名 前	役職名	名 前
理事長	松本 康之	評議員長	園崎 寿子
理 事	浦 耕太郎	評議員	井関 雅子
理 事	榎井 縁	評議員	宋 悟
理 事	服部 圭子	評議員	大家 幸子
理 事	徳弘 博子	評議員	野崎 志帆
理 事	大島 昭子	評議員	窪 誠
理 事	田中 逸郎	評議員	村上 深雪
理 事	ヨコタ ジェリー		
常務理事	山野上 隆史		
監 事	種田 ゆみこ		
監 事	呉 幸 哲		
監 事	栗原 貴子		

2022(令和4)年度事業報告 附属明細書

2022(令和4)年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。